

第105回東海北陸教育研究所連盟研究協議会・運営部会（D）聴取事項

※加盟機関一覧順に記載
※空欄の場合は、該当なしまたは無回答

【聴取1】新型コロナウイルス感染症対策による教職員研修の見直しについて

- (1) どのタイミングでオンライン型研修、または集合型研修について学校に周知するか
- (2) 今後出来るだけ、集合型研修として実施していこうとするものはどういった研修か
- (3) 今後出来るだけ、オンライン型（ビデオ配信型）として実施していこうとするものはどういった研修か。

（岐阜県総合教育センター）（三重県教育委員会事務局）

- (1) 不定期
- (2) ワークショップ、教員免許状更新講習、実験・実技を伴った研修、受講者相互のやりとりが生じる協議及び演習
- (3) 講話のみの研修、伝達講習 等

富山県総合教育センター

- (1) 1か月前
- (2) 研究授業、演習・協議を要する研修、実技研修
- (3) 講義、伝達講習

富山市教育センター

- (1) 不定期
- (2) 実習や実技、協議や演習、模擬授業など
- (3) 講義など一定の知識や情報を伝達するもの又は研修における反転学習的な意味合いをもつもの

石川県教員総合研修センター

- (1) 1か月前
- (2) 初任者研修
- (3) 講義

金沢市教育プラザ学校教育センター

- (1) 1か月前
- (2) プログラミング担当者会、全員配置タブレットについての講習会等、等しく全員に周知すべき内容の研修
- (3) オンライン型の研修は現在のところ考えていない。

小松市教育研究センター

- (1) 不定期
- (2) ワークショップ型、クロスセッション（異世代、異校種小グループによる協議）
- (3) 講義形式のみの研修、全県から集まる研修、遠隔地の講師による研修

福井県教育総合研究所

- (1) 1か月前
- (2) 双方向の発信が必要な研修（授業参観・研究授業など）又は実技を伴う研修（実験・観察等）
- (3) 一方向の発信のみで可能な研修（講話、伝達講習など）

岐阜県総合教育センター・関市まなびセンター

- (1) 不定期
- (2) 研究授業→密を防ぐため、人数を限定して参観する。授業の様子（オンラインにて）を他教室で参観する。
授業研究会も人数を限定して設定
- (3)

多治見市教育研究所

(1) 1 か月前 (2) 感染状況の拡大の状況によるが、今年度はできるWEB会議での実施を考えている。 (3) 双方向的なやりとりがあまり必要のない伝達、周知の内容については、資料提案・オンラインでの視聴での研修を実施予定。	瑞浪市教育研究所
(1) 不定期 (2) 校長研修会 教頭研修会 特別支援コーディネーター研修会等、分掌による研修 (3) 伝達講習	恵那市教育研究所
(1) 不定期 (2) 研究授業、授業研究会 (3) 伝達講習、市教研など打ち合わせ、検討会	中津川市教育研修所
(1) 3 か月前 (2) 研究授業、講話、交流会 (3) 特になし	美濃加茂市教育センター
(1) 3 か月前 (2) 初任者研修、教科研究会 (3) 講話、今日的な課題に関する研修(特別支援教育、ICT教育など)	可児市教育研究所
(1) 不定期 (2) 研究協議や演習を伴う研修 (3) 講義型の研修、繰り返し視聴することで効果が得られるであろう研修、伝達を目的とした研修	愛知県総合教育センター
(1) 1 か月前 (2) 講師を招聘して行う講演、協議や演習を行うもの (3) 指導主事の講義	名古屋市教育センター
(1) 令和2年4・5月実施予定の研修は1 か月前、令和2年6月から令和2年10月30日までに実施予定の集合型研修は、法定研修及び危機管理に関わる研修を除き、原則、オンライン型研修または中止することを令和2年5月22日に通知したので、1 か月前からそれ以上前に該当 (2) 法定研修及び危機管理に関わる研修 (3) 実施する上で、「三つの密」等に配慮することが難しい研修	豊田市教育センター
(1) 3 か月前 (2) 3密をさけて行える研修 (3) 講話、今日的な課題を知る研修	安城市教育センター
(1) 不定期 (2) グループで討議する内容のもの 実際に体験して価値のあるもの (3) 講義型のもの	豊橋市教育会館
(1) 3 か月前 (2) 「集合型研修」として実施していこうとするもの ・実技を伴う研修(小学校理科実験研修、現業研修)	

・見学や施設を利用して実施する研修（美術研修） ・対話による学びや気づきを修得する研修（防災教育） ・グループによる演習が中心となる研修（ケース・カンファレンス） ・長時間を要する研修（初任者研修） (3) 「オンライン型」としてとして実施していこうとするもの ・講義や個々での演習が中心となる研修 ・法定、悉皆研修の代替研修 ・講師を遠距離から招へいする研修	三重県教育委員会事務局
(1) 3か月前 (2) ワークショップ等、講師との相談の上、集合型の方が適していると判断した研修 (3) 講師との相談の上、オンラインの方が適していると判断した研修	桑名市教育研究所
(1) 不定期 (2) 授業研究会 (3) 講演会、講習会、研修会	伊勢市教育研究所
(1) 不定期 (2) 担当者研修会、教職員研修会、授業研究会等 (3) 講話や伝達講習など一方向の研修についてはオンラインでの配信を検討していく。また、学習指導要領の目指すところや指導と評価の一体化等、勤務校において何度でも視聴した方がよい内容については、オンデマンド方式での配信を検討していく。	津市立教育研究所

【聴取2】新型コロナウイルス感染症対策による初任者研修の実施状況について	
(1) 変更について ① 当初の予定日数 ② 実施日数 (2) (1) の実施日数のうち、 ① オンライン研修の日数 ② 宿泊研修の日数 ③ その他研修の日数 (3) オンライン研修を実施している場合の詳細 (4) (2) の③「その他の研修」を実施している場合の詳細	(石川県教員総合研修センター)
(1) ①15日 ②15日 (2) ①0日 ②0日 ③15日 (3) 実施していない (4) 集合型研修または課題等の提出による代替研修を実施	富山県総合教育センター
(1) ①15日（年間総日数）②15日 (2) ①4日 ②0日 ③11日 (3) 指導主事等の講義は、スライドに音声をつけて、受講者が勤務校で閲覧できるようにしている。「学級づくりⅠ」「接遇の基本」「危機管理」「保護者対応」「部活動指導」 (4) 「授業の基礎基本（ICT活用、道徳科の授業づくり）」「カウンセリング基礎」等	富山市教育センター
(1) ①18日 ②15日 (2) ①4日程度 ②0日 ③11日 (3) 学習指導、生徒指導	

(4) 資料による机上研修（研修教員が研修資料をダウンロードし、所属校で机上研修する） メールによる指導案検討（指導主事が指導案のアドバイスをメールで行い、研修教員は所属校で指導案改善を行う）、集合研修等	石川県教員総合研修センター
(1) ①22 ②20 (2) ①1 ②0 ③19 (3) NITSの動画視聴及び金沢型学習スタイルDVD視聴 (4)	金沢市教育プラザ学校教育センター
(1) ①1日 ②1日 (2) ①0日 ②0日 ③1日 (3) なし (4) 「地域理解講座」フィールドワークが中心の内容なので、密を避けて実施する。	小松市教育研究センター
(1) ①22日 ②22日 (2) ①14日 ②0日 (3) ・1年目、2年目全員に対するTeamsを使った授業づくりに関する個人面談 ・1年目 Zoomを使った授業実践研究に関するグループ協議 (4)	福井県教育総合研究所
(1) ① 当初の予定日数（小中）3日（高特）6日 ② 実施日数 （小中）3日（高特）6日 (2) ① オンライン研修の日数 （小中）1日（高特）4日 ② 宿泊研修の日数 無（当初予定も無） ③ その他研修の日数 （小中）2日（高特）2日 (3) 講義、教科別・課題別グループ別研修 (4) 資料配付による代替研修	岐阜県総合教育センター・関市まなびセンター
(1) (2) (3) (4)	多治見市教育研究所
(1) 市教委主催の初任研は3日 現在2日実施済み (2) 市教委主催のオンライン研修は実施していない。年度末に1回行うが、状況が好転していれば集合型で実施。 (3) (4)	瑞浪市教育研究所
(1) 市内研修 ①3日 ②1日 （次回研修は3学期：興和講話等） (2) ①0 ②0 ③2日 (3) ・ICTに関わる研修会 アプリの使用等 ・養護教諭研修会 (4) ・地域の自然や企業、歴史について学ぶ研修	恵那市教育研究所
(1) 市の初任研です ①2日 ②2日（日にちを替えて実施できるようにした） (2) ①0日 ②0日 ③2日	

(3) (4) 市の方針と重点講話 生徒指導の講話 グループ別交流	中津川市教育研修所
(1) ①3回 ②3回 (2) ①なし ②なし ③3日 (3) 実施していない (4) DVD視聴による代替研修 実地研修	美濃加茂市教育センター
(1) ①2.5日 ②2日 (2) ①0日 ②0日 ③2日 (3) (4) 市の教育の特徴に関する研修(外国籍児童生徒への教育、ふるさと教育)は、集合型研修として実施。	可児市教育研究所
(1) ①センターでの校外研修の予定日数は、小中学校3日間(年間9日)、高等学校4日間(年間13日)、特別支援学校5日間(年間13日) ②2日 ※8/3現在 (2) ①1日 ②0日 ③1日 (3) 「信頼される教職員であり続けるために」 「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業の改善」 (4) 集合研修「学級経営上の課題」「人権教育について」「学級経営及び生徒指導の意義」	愛知県総合教育センター
(1) ①19 ②16(資料配付や動画視聴による報告書提出も実施としてカウント) (2) ①2(オンラインのみは2) ②0 ③14 (3) マナー講座(講師の会社から動画配信) (4) オンライン(動画配信・資料配信)により研修を精選し、講義・協議・演習等の必要な研修は短縮版で実施。	名古屋市教育センター
(1) ①17日 ②17日 (2) ①1日 ②0日 ③16日 (3) 第1回(令和2年4月15日から令和2年4月24日まで動画配信) 講話「初任者のみなさんへ 15のキーワード」 講話「教師の使命と義務」 (4) 第2回から第5回まで 青少年相談センター訪問、グループ討議、講義、講話を実施 ※第6回以降は未実施	豊田市教育センター
(1) ①5日 ②4日 (2) ①1日 ②0 ③3日 (3) 接遇インストラクターによる講義。研究部の指導主事を初任者にみたてて講義していただいたものを録画して配信。 (4) 紙面による校内研修	安城市教育センター
(1) ①17回 ②11回 (2) ①2回 ②0回 ③9回 (3) Eラーニング「発達障害児童生徒理解講座」「メンタルヘルス研修講座」 (4) 「学級づくり」「学校安全」「授業づくり」「救急時の対応」	豊橋市教育会館
(1) ①当初の予定日数15回 ②実施日数14回 (2) ①オンライン研修の日数 7回	

②宿泊研修の日数 0回 ③その他研修の日数 7回 (3) 一斉研修 6回 ・初任研のみ 3回(動画配信2、Zoom1) ・初任研、6年次研、中堅研Ⅰの合同 授業実践研修 2回(動画配信1、Zoom1) ・初任研、中堅研Ⅰの合同 生徒指導実践研修 1回(動画配信1) ・選択研修 1回 ・動画配信 1回 ※動画配信は、ネットDE研修、新型コロナウイルス対応より新しく作成した動画等 (4) 10月以降は集合研修にて7回を実施予定	三重県教育委員会事務局
(1) 当研究所では、初任者研修は主催していない。 (2) (3) (4)	桑名市教育研究所
(1) ※三重県教育委員会事務局で回答 (2) ※三重県教育委員会事務局で回答 (3) ※三重県教育委員会事務局で回答 (4) ※三重県教育委員会事務局で回答	伊勢市教育研究所
(1) ①2日②1日 (2) ① オンライン研修の日数→0日 ② 宿泊研修の日数→0日 ③ その他研修の日数→1日 (3) (4) 7月の新型コロナウイルス感染症が少し収まった時期に集合研修にて実施した。	津市立教育研究所

【聴取3】新型コロナウイルス感染症対策による中堅教諭等資質向上研修の実施状況について	
(1) 変更について ① 当初の予定日数 ② 実施日数 (2) (1)の実施日数のうち、 ① オンライン研修の日数 ② その他研修の日数 (3) オンライン研修を実施している場合の詳細 (4) (2)の②「その他の研修」を実施している場合の詳細	(石川県教員総合研修センター)
(1) ①13日 ②13日 (2) ①1日 ②12日 (3) NITSのオンライン講座を活用した代替研修を実施予定 (4) 集合型研修または課題等の提出による代替研修を実施	富山県総合教育センター
(1) ①6日 ②4日 (2) ①2日 ②2日 (3) 「社会に学ぶ講話」(講師と受講者の各勤務校をつないで実施)	

「不登校等の対応に関する研修会」（NITSオンライン講座を使用） (4) 「カリキュラム・マネジメントに関する研修会」（実施予定） 「社会体験研修」代替対応として「社会に学ぶ講話Ⅱ」（実施予定）	富山市教育センター
(1) ①9日 ②7.5日 (2) ①1日 ②6.5日 (3) 人権教育、服務等 (4) メール等による指導案検討（指導主事が指導案のアドバイスをメールで行い、研修教員は所属校で指導案改善を行う）、集合研修等	石川県教員総合研修センター
(1) ①11年目教諭は7日、9・10年目教諭は4日 ②11年目教諭は7日、9・10年目教諭は3日 (2) ①4日 ②2日は集合研修、1日は校内での実践 (3) 2日はオンデマンド研修（NITSの動画視聴、研修講師からの動画）、2日はZoomによるライブ配信 (4)	金沢市教育プラザ学校教育センター
(1) 中堅教諭等資質向上研修は実施していない (2) (3) (4)	小松市教育研究センター
(1) ①8日 ②6日 (2) ①6日 ②なし (3) ・Zoomを使ったグループ協議 ・Zoomを使った免許状更新講習（福井県は中堅研修の中に免許状更新講習を悉皆研修とし18時間を読替可としている） (4)	福井県教育総合研究所
(1) ①当初の予定日数（小中高特）1日 ②実施日数（小中高特）1日 (2) ①オンライン研修の日数 0日 ②その他研修の日数（小中高特）1日 (3) オンライン研修 無 (4) 資料配付による代替研修	岐阜県総合教育センター・関市まなびセンター
(1) (2) (3) (4)	多治見市教育研究所
(1) 市教委の主催の研修は実施していない。 (2) (3) (4)	瑞浪市教育研究所
(1) ①1日 ②0 (2) ①0 ②0 (3)	

(4)	恵那市教育研究所
(1) 中堅教諭などの研修は市では実施していない。 (2) (3) (4)	
	中津川市教育研修所
(1) ①4回 ②4回 (2) ①0日 ②4日 (3) (4) 集合型研修	
	美濃加茂市教育センター
(1) 無し (2) 無し (3) (4)	
	可児市教育研究所
(1) ①センターでの校外研修は4日間(年間5日間)。異校種体験研修・社会体験研修は3日間。校内研修は各学校の計画による。 ②2日。※全体研修は中止し、eラーニング等の代替研修を実施する。異校種体験研修や社会体験研修は、資料配付で代替する。 ※8/3現在 (2) ①1日 ②1日 (3) 「中堅教員に期待すること」「学校組織マネジメント基礎講座」「ファシリテーター養成研修」 (4) 社会体験研修に関する資料配付による代替研修とする。	
	愛知県総合教育センター
(1) ①9 ②9(資料配付や動画視聴による報告書提出も実施としてカウント) (2) ①1 ②8 (3) 講話(10年目の教師への期待・学校を活性化させる取組) (4) オンライン(動画配信・資料配信)により研修を精選し、講演・協議・演習等の必要な研修は短縮版で実施。	
	名古屋市教育センター
(1) ①4日(集合型研修)、6日(校内・校外における個別型研修)、15日以上20日以内(校内研修) 計25～30日 ②4日(集合型研修)、6日(校内・校外における個別型研修)、15日以上20日以内(校内研修) 計25～30日 (2) ①1日 ②3日 (3) 第1回(令和2年4月24日から5月1日まで動画配信) 講話「11年目に求められること」 講話「出会えてよかったと言われる教員を目指して ～非違行為を起こさないために～」 ガイダンス「10年経験者研修の概要」 (4) 第2回(令和2年6月24日 集合研修として実施) 講義:「組織マネジメント」 協議:「研究協議レポートの研究協議・意見交換」 ※第3回、4回は未実施	
	豊田市教育センター
(1) ①1日 ②1日 (2) ①0日 ②1日	

(3)	
(4) 紙面による校内研修	
	安城市教育センター
(1) ①10回 ②6回	
(2) ①4回 ②2回	
(3) Eラーニング「発達障害児童生徒理解講座」「メンタルヘルス研修講座」「生徒指導・生活サポート講座」「論文演習」	
(4) 開校式・講話 閉校式・講話	
	豊橋市教育会館
(1) ①当初の予定日数 6回 ②実施日数 6回	
(2) ①オンライン研修の日数 4回 ②その他研修の日数 2回	
(3) 一斉研修 4回	
・中堅研Ⅰのみ 1回（動画配信1）	
・初任研、6年次研、中堅研Ⅰの合同 授業実践研修 2回（動画配信1、Zoom1）	
・初任研、中堅研Ⅰの合同 生徒指導実践研修 1回（動画配信1）	
※動画配信は、ネットDE研修、新型コロナウイルス対応より新しく作成した動画等	
(4) 10月以降は集合研修にて2回を実施予定。	
	三重県教育委員会事務局
(1) 当研究所では中堅教諭等資質向上研修は主催していない。	
(2)	
(3)	
(4)	
	桑名市教育研究所
(1) ※三重県教育委員会事務局で回答。	
(2) ※三重県教育委員会事務局で回答。	
(3) ※三重県教育委員会事務局で回答。	
(4) ※三重県教育委員会事務局で回答。	
	伊勢市教育研究所
(1) 市独自では中堅教諭等資質向上研修を実施していない。	
(2)	
(3)	
(4)	
	津市立教育研究所

【聴取4】新型コロナウイルス感染症対策のもと、教員免許更新講習の延長に係る中堅教諭等資質向上研修の相互認定について	
(1) 認定の有無	
① 有 ② 無	
(2) (1) で有の場合、その制度の概要	
	(石川県教員総合研修センター)
(1) 無	
(2)	
	富山県総合教育センター
(1) 無	
(2)	
	富山市教育センター
(1) 有	
(2) 計画書案で「免許状更新講習による代替を希望」したものは、その後「免許状更新講習	

の延期又は延期の「手続」を行い、延長が認められたとしてもそのまま代替を認める。	石川県教員総合研修センター
(1) 有 (2) 県と同様	金沢市教育プラザ 研修相談センター
(1) 無 (2)	小松市教育研究センター
(1) 無 (2)	福井県教育総合研究所
(1) 無 (2)	岐阜県総合教育センター・関市まなびセンター
(1) (2)	多治見市教育研究所
(1) (2) 市教委では関与していない。	瑞浪市教育研究所
(1) 無 (2)	恵那市教育研究所
(1) 無 (2)	中津川市教育研修所
(1) (2)	美濃加茂市教育センター
(1) (2)	可児市教育研究所
(1) 無 (2)	愛知県総合教育センター
(1) 無 (2)	名古屋市教育センター
(1) 有 (2) 教員免許状更新講習の1講座を中堅教諭等資質向上研修選択研修の1講座と兼ねることができる。	豊田市教育センター
(1) 無 (2)	安城市教育センター
(1) 無 (2)	豊橋市教育会館

(1) 無 (2)	三重県教育委員会事務局
(1) (2) 【聴取3】に同じ	桑名市教育研究所
(1) (2) ※三重県教育委員会事務局で回答。	伊勢市教育研究所
(1) 無 (2)	津市立教育研究所

【聴取5】新型コロナウイルス感染防止を図るために中止した研修の代替措置について (1) 代替措置実施の有無 ① 有 ② 無 (2) (1) で有かつeラーニングで実施している場合 ① 研修名 ② 受講者数 ③ 利用コンテンツ（既存・新規作成） ④ コンテンツの視聴時間 (3) (1) で有かつeラーニング以外で実施している場合 ① 具体的な実施方法 ② 研修名 ③ 受講者数 (愛知県総合教育センター)	
(1) 有 (2) ①デジタル教材活用研修会（わかりやすい授業のための動画制作・活用コース） ②32名 ③動画ファイル(mp4)新規作成 ④約1時間 (3) ①資料送付で対応 ②プログラミング研修会(小学校プログラミング教育) 導入コース ③47名 富山県総合教育センター	
(1) 有 (2) ①通級指導教室担当者研修会 ②36名 ③新規作成（講師作成） ④30分 ①特別支援教育研修会 ②154名 ③NITSオンライン講座 ④20～30分を2本 ①「特別の教科道徳」指導に関する研修会 ②73名 ③新規作成〔講師作成〕 ④60分 (3) ①勤務校にて「授業研究」を行う。 ②初任者・2・3・6年次研修 における「授業研究」 ③初任者 102名 2年次 57名 3年次 83名 6年次 77名 富山市教育センター	
(1) 有 (2) ①基本研修 初任者研修②231名 ③オンデマンド動画（新規作成） ④1本30分～1時間程度 (3) ①机上研修 ②基本研修 初任者研修 ③231名	

	石川県教員総合研修センター
(1) 無 (2) (3)	
	金沢市教育プラザ 研修相談センター
(1) 無 (2) (3)	
	小松市教育研究センター
(1) 有 (2) ①新任校長研修、教頭研修 ②新任校長79名、新任教頭76名 ③既存＋新規作成 ④合計3時間程度 (3) ①Zoom、Teamsを使った双方向オンライン研修 ②初任者、2年目、中堅、新任校長・教頭研修、教科別研修	
	福井県教育総合研究所
(1) 有 (2) ①初任者研修 ②671名 ③新規作成 ④90分程度 (3)	
	岐阜県総合教育センター・関市まなびセンター
(1) (2) (3)	
	多治見市教育研究所
(1) 無 (2) (3)	
	瑞浪市教育研究所
(1) 無 (2) (3)	
	恵那市教育研究所
(1) 有 (2) 無 (3) ①紙面配布 ②研究主任研修 道徳推進教師研修 生徒指導研修 ③各30名程度	
	中津川市教育研修所
(1) 無 (2) (3)	
	美濃加茂市教育センター
(1) 有 (2) (3) ①メールにて研修資料を送付する。 ②初任者研修 ③19名	

(1) 有

(2) ① (ア) 小中学校初任者研修 (イ) 高等学校初任者研修 (ウ) 特別支援学校初任者研修
(エ) 特別支援学校5年目経験者研修 (オ) 県立学校新任校長研修 (カ) 幼稚園教育
課程講座 (キ) 教育研究リーダー養成研修

② (ア) 673人 (イ) 233人 (ウ) 120人 (エ) 103人 (オ) 35人 (カ) 232 (キ) 12人

③ (ア) 「信頼される教職員であり続けるために」「学校保健について」

「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業の改善Ⅰ」

(イ) 「高等学校の現状と課題」「教育公務員としての在り方」「人権教育の推進」

(ウ) ①「教育公務員としての在り方」「人権教育の推進」

「特別支援教育の現状と課題」「特別支援教育の目指すもの」

②「学習指導要領と教育課程の編成」「教育相談の礎」

(エ) 「今後の特別支援学校に求められるもの」

(オ) 「学校組織マネジメントの基本」

「カリキュラムマネジメントとリスクマネジメント」

(カ) 「今の幼児教育に求められること」

(キ) ①「所長挨拶」「研修のねらい」「教育研究の進め方・まとめ方」

②「データの見方・考え方」

④ (ア) 90分 (イ) 120分 (ウ) ①は127分②は92分 (エ) 90分 (オ) 100分 (カ) 55分

(キ) ①は110分 ②は60分

※8/3現在、すべて新規作成

(3)

愛知県総合教育センター

(1) 有

(2) 【研修部第1研究室】

①初任者研修会 ②327 ③既存 ④40分程度

(3) 【研修部第1研究室】

①実践報告書を小グループで資料交換・意見交換をして、自身の今後の方向性をまとめ提出させる

②中堅教諭等資質向上研修（小学校、特別支援学校小学部）

③195

【研修部第2研究室】

①コンテンツ紹介 ②道徳の授業力アップ講座 ③561

①動画 ②アイデアいっぱい！楽しい授業づくり講座（学芸会） ③518

【研究調査部第3研究室】

①受講者に講義資料を配付し、勤務校で研修に取り組んでもらった。

①人権教育研修会 ③67

【教育相談部教育相談研究室】

①独立行政法人教職員支援機構のオンライン講座の中から研修のねらいに合うものを選択 ②教育相談研修会 ③396

①指導主事が動画作成 ②OJTで進める教育相談講座 ③96

①指導主事が動画作成 ②若手教員のための学級集団づくり講座 ③78

①指導主事が動画作成 ②教育相談基礎講座 ③96

①指導主事が動画作成 ②教育相談発展講座 ①34

【教育相談部特別支援教育研究室】

①動画コンテンツ視聴 ②特別支援教育コーディネーター研修会 ③421

①資料配布 ②特別支援学校・特別支援学級・通級指導教室新規担当研修会

①63

①資料配布 ②特別支援学校・特別支援学級指導法講座 ③345

①動画コンテンツ視聴・資料配布 ②特別支援学校・特別支援学級・通級指導教室 教員研修会 ③291 ①動画コンテンツ視聴 ②発達障害のある子どもの理解と支援講座 ③805 ①動画コンテンツ視聴 ②個別の指導・支援推進講座 ③65 【学校情報化支援部】 ①研修資料の配信 ②情報教育担当者研修会 ③395 ①研修内容を動画資料にして提供 ②コンピュータ講座 ③のべ3319	名古屋市教育センター
(1) 有 (2) ①ICT研修（タブレット活用） ②全教員（非常勤講師を除く）約2,200人 ③既存 ④25分 (3) ①動画配信、ライブ配信によるオンライン会議 ②職務研修（対象：校長、教頭、教務主任、校務主任等） 基本研修（2年経験者研修、5年経験者研修等） 専門研修（ICT研修、道徳科推進研修、理科室準備室整備研修等） ①のべ約5,900人	豊田市教育センター
(1) 有 (2) (3) ①紙面による校内研修 ②初任者研修 ③34人 ①動画配信による研修 ②いのちの教育推進研修 ③82人	安城市教育センター
(1) 有 (2) ①初任研 ②74名 ③市教委自作 ④1時間～1時間半 ①中堅教員研修 ②67名 ③市教委自作 ④1時間～1時間半 (3) ①資料送付・レポート提出 ②基本研修・職務研修いろいろ ③70～80名	豊橋市教育会館
(1) 有 (2) ①人権教育講座①「いろいろな場面で人権教育を！」～『人権教育サポートガイドブック』を使って～ ①146人（7月末現在） ①ネットDE研修（三重県教育委員会）による動画コンテンツ（既存のもの） ④60分 (3) ①Web配信システム（Zoom）による遠隔研修 ②小学校国語授業づくり研修－授業づくりの基本を学ぼう－ ③18人（7月末現在）	三重県教育委員会事務局
(1) 無 (2) (3)	桑名市教育研究所
(1) 無 (2) (3)	伊勢市教育研究所

- (1) 有
- (2) ①研修名→特別支援教育指導者育成研修
 ①受講者数→9人
 ①利用コンテンツ（既存・新規作成）→既存のものと新規作成のものを活用。
 ①コンテンツの視聴時間→30分2本、1時間1本、1時間30分1本、合計3時間30分。
- (3) ①具体的な実施方法→You Tubeライブ
 ②研修名→小学校英語担当者会議
 ③受講者数→49人

津市立教育研究所

【聴取6】実習を伴う研修（理科や情報）において新型コロナウイルス感染症対策はどのように行っているか

- (1) 今年度の実習を伴う研修（理科や情報）の有無
 ① 有 ② 無
- (2) (1) で有の場合、その具体的な対策方法

(富山県総合教育センター)

- (1) 有
- (2) 情報研修・・・三密を避ける、マスク着用、手指アルコール消毒、体温確認、飛沫防止ボード設置、窓の開放、研修後のPCキーボードアルコール消毒
 理科研修・・・三密を避ける（実験台1テーブルにつき2名、実験室は8名まで（定員の半分））、マスク着用、手指アルコール消毒、体温確認、飛沫防止ボード設置、窓の開放

富山県総合教育センター

- (1) 有
- (2) 受講対象者を3グループ編成とし、3回開催し分散させている。

富山市教育センター

- (1) 有
- (2) 文部科学省が示している「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～に基づく感染症対策を実施。（教材・教具はできるだけ共有しない、共有する場合は消毒を徹底など）
 個人活動を主とする。研修日程を1日から半日に短縮する。

石川県教員総合研修センター

- (1) 有
- (2) 初任者研修 体育（接触のない運動のみ）

金沢市教育プラザ 研修相談センター

- (1) 有
- (2) 人数を制限したり、広い会場に変更したりして実施する。

小松市教育研究センター

- (1) 有
- (2) Zoom、Teamsを使った双方向オンライン研修
 理科実習における機器や机、出入口取手の消毒
 生徒にマスク着用、アルコール消毒の徹底、蜜をさせる指導

福井県教育総合研究所

- (1) 有
- (2) 広い実験室に、間隔をあけて実験装置を設置。各受講者が密集しないように研修を実施する予定。

岐阜県総合教育センター・関市まなびセンター

- (1)
- (2)

	多治見市教育研究所
(1)	
(2)	
	瑞浪市教育研究所
(1) 有	
(2) オンラインにより各学校で研修を行う。	
	恵那市教育研究所
(1) 有	
(2) 示範は児童生徒を前に集めず I C T 機器で行う。 マスク着用、手洗い、器具の貸し借りの配慮を行う。 一定の距離をとるよう机列の工夫を行う。	
	中津川市教育研修所
(1) 有	
(2) 広い会場で設定し、密にならないように配慮して実施する。	
	美濃加茂市教育センター
(1) 無	
(2)	
	可児市教育研究所
(1) 有	
(2) 【情報】使用したパソコンのマウスやキーボードの消毒 【理科】使用器具共用禁止、使い捨ての手袋の着用	
	愛知県総合教育センター
(1) 無	
(2)	
	名古屋市教育センター
(1) 有	
(2) e ラーニング及び自校でのOJT実習に変更。（学校間交流を避ける）	
	豊田市教育センター
(1) 無	
(2)	
	安城市教育センター
(1) 無	
(2)	
	豊橋市教育会館
(1) 有	
(2) 基本的な感染防止対策を徹底したうえで (理科) ・市町単位の限定地域を対象とする。 ・少人数の研修とする（定員10人）。 ・放課後の短時間（1時間半程度）での実施とする。 (情報) ・9月末日までの研修は中止または内容の一部を変更しオンライン教材を活用、遠隔研修で実施する方向で検討中。	
	三重県教育委員会事務局
(1) 有	
(2) オンラインによる研修	
	桑名市教育研究所

- (1) 有
(2) リモートによる研修形式をとっている。

伊勢市教育研究所

- (1) 有
(2) 理科の観察・実験の基礎基本演習は今年度中止としたが、学習支援サイト活用研修会はライブ配信によるオンライン研修を実施した。今後も新型コロナウイルス感染症拡大状況や研修内容を考慮し、オンライン研修の実施方法を検討する。

津市立教育研究所

【聴取7】ライブ配信による令和2年度のオンライン研修の実施について

- (1) 実施の有無
① 有 ② 無
(2) (1) で有の場合
① 参加人数
② 実施時間
③ 事前準備として行ったこと
④ 成果と課題

(豊田市教育センター)

- (1) 有
(2) ①44名
②120分
③Google Meetを使用。事前に講師及び受講者にアカウント等を配付し参加の仕方を説明をした。
④成果：オンラインでの参加により、依頼していた講師(大学教授)も現地からの講義ができた。講義形式では有効であることがわかった。チャットを用いると、講師からの問いに答えやすい。
課題：システマ的につながらない市町村があった。また、つながった場合でも、回線が不安定で途中で接続が切れる受講生がいた。映像や音声のON、OFF操作が不慣れでハウリング等が起こった。学校で受講しているため、途中で急な校務により妨げられる受講者が数名いた。

富山県総合教育センター

- (1) 有
(2) ①43名(中堅教諭) 57名(2年次研) 83名(3年次研)
②45分～90分
③研修開催前に、通信状況確認テスト(映像、音声)を行った。
④成果：講師による講話では、チャット質問することができ、受講者から多数の質問が寄せられた。また、即回答をいただけた。
少人数(4, 5人)では、情報交換や意見交換ができた。
課題：人数が増えると、受講者同士の意見交換ができない。(通信環境が原因)
学校によって通信状況に差が出る。

富山市教育センター

- (1) 有
(2) 希望研修「高等学校プログラミング教育必修化に備える」
①49人
①1時間
③各所属校でのオンライン研修が可能かどうかの確認のため、事前に決まった時間にアクセスし、動画を視聴してもらった。
④成果：講師、受講者の環境が整えば、オンラインでの研修実施が可能であることが確

	認できた。受講者からは、「手元にプレゼンテーションが映るので見やすくてよい」「集合型よりも気軽にチャットを使って質問できてよかったなどの前向きな意見が聞かれた。 課題：今回は、県立学校対象のため、同一のネット環境で研修を実施できたが、市町立学校の場合、ネット環境がバラバラのため、実施のハードルが高い。
	石川県教員総合研修センター
(1) 有 (2) ①集合型72名（中堅研） ②90分 ③Zoomによる配信で、事前に講師との動画の接続確認を行った。 ④受講者の安全・安心につながる。 電波の不具合で、たまに画像がフリーズすることがあった。	金沢市教育プラザ 研修相談センター
(1) 無 (2)	小松市教育研究センター
(1) 有 (2) ①マネジメント研修 39名 ②3時間 ③機器、アプリの使用マニュアルの作成と配布 接続テストの実施 リアルな研修となるような場の設定とスタッフ配置 研修場所を職場だけでなく自宅も可とする対応 ④成果：移動時間が削減される、特に遠隔地の受講生からは歓迎された。 資料が画面上に表示され見やすい、グループ協議でも雑音がなくなる。 課題：対面でないため反応が分かりにくい、質の担保。	福井県教育総合研究所
(1) 有 (2) ①各講座100人程度（初任者研修・重点講話等） ②90分程度 ③WEB会議参加のための接続テスト ④成果：新型コロナウイルス感染防止を図りながら研修が実施できている。 課題：WEB会議システムの基本操作の習得が必要である。	岐阜県総合教育センター・関市まなびセンター
(1) 有 (2) ・7月下旬に、筑波大学の清水教授による講座開催 ・各学校及び園から一人の参加 ・接続テスト及び質疑応答時の対応	多治見市教育研究所
(1) 無 (2)	瑞浪市教育研究所
(1) 無 (2)	恵那市教育研究所
(1) 無 今後できるように準備中。 (2)	中津川市教育研修所
(1) 無	

(2)	美濃加茂市教育センター
(1) 無 (2)	可児市教育研究所
(1) 有 (2) ①33人 ②終日 ③発出文書の出し直し（日程、方法の変更等）、研修に必要なタブレット端末の準備等 ④研修実施前のため未記載	愛知県総合教育センター
(1) 無 (2)	名古屋市教育センター
(1) 有 (2) 代表例：教頭研修、教務主任研修 ①103人 ②30分 ③各校でのZoomのアカウント取得 接続テスト 動画配信による操作方法の周知 ④成果：役職者がライブ配信によるオンライン会議を体験できるよい機会となった。 課題：開催時刻までに全員が参加できない。 参加人数が多いと、コンピュータの画面上で参加者を把握することが難しい。	豊田市教育センター
(1) 無 (2)	安城市教育センター
(1) 無 (2)	豊橋市教育会館
(1) 有 (2) ①20～500名 ②2時間程度 ③事前課題の準備、疎通確認 ④成果：勤務校を離れず研修を受講できるため、子どもたちと向き合う時間を確保できる等の一定の成果が確認できた。	三重県教育委員会事務局
(1) 有 (2) ①1講座30名～85名程度 ②2時間 ③Zoom使用法の周知、講師との打ち合わせ、Zoomの使い方研修（主催者側） ④今後実施	桑名市教育研究所
(1) 有 (2) ①20～35名 ②40～120分 ③当日の資料作成、Zoomアプリを活用のための事前確認と準備 ④成果：集合研修とは違い、移動時間がないため参加者には好評であった。	

課題：主催者側としては、全体の取り組みの様子や雰囲気、反応を把握しにくい。

伊勢市教育研究所

(1) 有

(2) ①参加人数→端末アクセス数486台

②実施時間→1時間

③事前準備として行ったこと→機器の設定とリハーサル

④成果：コロナ禍で教育委員会として初めてのライブ配信によるオンライン研修を実施し、今後のオンライン研修の方向性と可能性について検討することができた。

課題：チャット機能により、質疑応答を行ったが、映像はこちらからの一方向での配信であったので、受講者の雰囲気を把握しながら研修を進めることには課題が残った。今後はZoom等を活用した研修の実施方法を検討していく必要がある。

津市立教育研究所

【聴取8】双方向オンラインによる研修について

(1) 実施について

① 有 ② 実施予定 ③ 未定

(2) (1) で有の場合

① 導入年度

② 利用システム

③ 1回の研修時間

④ 1回の最大接続人数

(3) (1) で実施予定の場合

① 導入予定年度

② 利用予定システム

(富山県総合教育センター)

(1) 有

(2) ①令和2年度

②Google Meet

③2時間(120分)

④44名

(3)

富山県総合教育センター

(1) 有

(2) ①令和2年度

②Cisco Webex Meetings

③30分～45分

④最大100名まで可能だが、研修では、4～6人グループで接続

(3)

富山市教育センター

(1) 有

(2) ①令和2年度 ②Google meet ③約1時間 ④接続時は、5人程度のグループで実施。

(3)

石川県教員総合研修センター

(1) 未定

(2)

(3)

金沢市教育プラザ 研修相談センター

(1) 未定 (2) (3)	小松市教育研究センター
(1) 有 (2) ①令和2年度 ②Teams、Zoom ③2時間～3日 ④170人 (3)	福井県教育総合研究所
(1) 有 (2) ①平成30年度 ②CISCO Webex ③90～120分程度 ④200人程度（システム上1000人まで可能） (3)	岐阜県総合教育センター・関市まなびセンター
(1) 未定 (2) (3)	多治見市教育研究所
(1) 実施予定 (2) (3) 今年度より、CISCOを活用予定。（一部Google Meet）	瑞浪市教育研究所
(1) 有 (2) ①令和2年度 ②Zoom ③90分 ④30人 (3)	恵那市教育研究所
(1) 未定 (2) (3)	中津川市教育研修所
(1) 未定 (2) (3)	美濃加茂市教育センター
(1) 未定 (2) (3)	可児市教育研究所
(1) 有 (2) ①令和2年度 ②MeetingPlaza、Zoom ③2時間、終日 ④60人	

(3)	愛知県総合教育センター
(1) 有 (2) 【研修部第2研究室】 ①令和2年度 ②Zoom ③3時間 ④34人 (3) 【研修部第1研究室】 ①令和2年度中 ②Zoom	名古屋市教育センター
(1) 有 (2) ①令和2年度 ②マイクとカメラを内蔵しているタブレット一体型パソコンを使用。 Zoomを使用 ③30分程度 ④104人 (3)	豊田市教育センター
(1) 未定 (2) (3)	安城市教育センター
(1) 実施予定 (2) (3) ①本年度 ②Teams	豊橋市教育会館
(1) 有 (2) ①令和2年度 ②Web会議システム Zoom ③1時間～2時間程度 ④300 (3)	三重県教育委員会事務局
(1) 有 (2) ①令和2年度 ②Zoom ③2時間 ④100人 (3)	桑名市教育研究所
(1) 有 (2) ①令和2年度 ②Zoomアプリ ③40～120分 ④35名 (3)	伊勢市教育研究所

- (1) 有
- (2) ①導入年度→令和2年度
②利用システム→You Tubeライブ
③1回の研修時間→1時間
④1回の最大接続人数→端末アクセス数486台
- (3)

津市立教育研究所

【聴取9】動画配信による研修の実施について

- (1) 実施について
① 有 ② 実施予定 ③ 未定
- (2) (1)で有の場合
① 導入年度
② 利用システム
③ 配信期間
④ 受講確認の方法
- (3) (1)で実施予定の場合
① 導入予定年度
② 利用予定システム

(富山県総合教育センター)

- (1) 有
- (2) ①令和2年度
②動画ファイル(mp4)をzipでまとめ、センターのHPよりダウンロードする。
③約1時間
④特に確認していない
- (3)

富山県総合教育センター

- (1) 有
- (2) ①令和2年度
②パワーポイント 富山市小中学校共有ファイルサーバー
③約1ヶ月
④アンケートフォームによる回答の受理
- (3)

富山市教育センター

- (1) 有
- (2) ①平成30年度 ②県教委独自のシステム「スマートスクールネット」
③1本につき2週間(外部講師)～2か月(指導主事) ④オンラインシステムによるアンケート回答で受講を確認できる。ただし、一部の基本研修などを除き、オンデマンド配信による研修の受講確認はしない。校内研修や各個人の自主的研修に活用してもらっている。
- (3)

石川県教員総合研修センター

- (1) 有
- (2) ①令和2年度
②本市の教職員のみが視聴できる動画サイト
③2週間
④振り返りシートの提出
- (3)

金沢市教育プラザ 研修相談センター

(1) 未定 (2) (3)	小松市教育研究センター
(1) 有 (2) ①平成26年度 ②moodle ③通年 ④基本的には、受講履歴には残さない。一部、レポート提出で確認。 (3)	福井県教育総合研究所
(1) 有 (2) ①令和2年度 ②You Tube ③2週間程度 ④WEBアンケートへの回答で確認。 (3)	岐阜県総合教育センター・関市まなびセンター
(1) (2) (3)	多治見市教育研究所
(1) 実施予定 (2) (3) 今年度より、CISCO活用予定。	瑞浪市教育研究所
(1) 有 (2) ① 令和2年度 ② ムービーライブラリ（ソフトバンク） ③ 内容による ④レポート提出 (3)	恵那市教育研究所
(1) 未定 (2) (3)	中津川市教育研修所
(1) 未定 (2) (3)	美濃加茂市教育センター
(1) 未定 (2) (3)	可児市教育研究所
(1) 有 (2) ①平成21年度 ②eラーニングシステム ③自由に設定可能 ④CSVファイルで確認	

(3)	愛知県総合教育センター
(1) 有	
(2) 【研修部第1研究室】	
①令和2年度 ②プレゼン音声入り動画	
③8月3日～12月28日 ④報告書提出	
【研修部第2研究室】	
①令和2年度 ②教育センターのHPにアップロードする。	
③8月3日～12月28日 ④確認せず	
【学校情報化支援部】	
①回答せず ②イントラネットのWEBページで公開	
③8月3日～12月28日 ④なし	
(3)	名古屋市教育センター
(1) 有	
(2) ①平成27年度	
②市教材データベース	
③15分程度	
④教職員データベースの「振り返りシート」の記入	
(3)	豊田市教育センター
(1) 有	
(2) ①令和2年度 ②Zoom ③約1か月 ④レポート提出	
(3)	安城市教育センター
(1) 有	
(2) ①以前から ②インターネット ③2週間～4週間 ④レポート	
(3)	豊橋市教育会館
(1) 有	
(2) ①平成15年度	
②Glexa	
③30分～90分	
④受講確認を求める場合はレポートの提出で対応する。	
(3)	三重県教育委員会事務局
(1) 未定	
(2)	
(3)	桑名市教育研究所
(1) 有	
(2) ①令和2年度	
②YouTube	
③3週間	
④アンケート提出	
(3)	伊勢市教育研究所

- (1) 有
 (2) ①導入年度→令和2年度
 ②利用システム→You Tubeライブ
 ③1回の研修時間→1時間
 ④コラボノート（市内共有ポータルサイト）にて確認
 (3)

津市立教育研究所

【聴取10】e-ラーニング方式で行う令和2年度の研修の有無について

- (1) 実施の有無
 ① 有 ② 無
 (2) (1) で有の場合
 ① 研修名
 ② 研修日数
 ③ 視聴時間

(名古屋市教育センター)

- (1) 有
 (2) (2) ①デジタル教材活用研修会（わかりやすい授業のための動画制作・活用コース）
 ②1日
 ③約1時間
 (2) ①校務のためのPC活用研修会（便利で簡単！校務処理コース）（一括で処理！校務VBAコース）
 ②1日
 ③約2時間

富山県総合教育センター

- (1) 有
 (2) ①初任者研修会 ②4日 ③20～30分 × 4回
 ①通級指導教室担当者研修会 ②1日 ③30分
 ①特別支援教育研修会 ②1日 ③20～30分 × 2回
 ①不登校等の対応に関する研修会 ②1日 ③25分
 ①「特別の教科 道徳」指導に関する研修会 ②1日 ③60分

富山市教育センター

- (1) 無
 (2)

石川県教員総合研修センター

- (1) 無
 (2)

金沢市教育プラザ 研修相談センター

- (1) 無
 (2)

小松市教育研究センター

- (1) 有
 (2) ①初任者研修 ②4.5日 ③360分
 ①2年目研修 ②0.5日 ③40分
 ①3年目研修 ②1日 ③80分
 ①中堅研修 ②0.5日 ③40分
 ①臨時任用講師研修 ②1日分 ③40分

福井県教育総合研究所

- (1) 有

(2) ①表計算ソフト入門・表計算VBA・プレゼンテーション入門・ICT活用入門・情報モラル入門・多様なニーズに応じた特別支援教育 ②263日 (5/11～1/29) ③6時間程度	岐阜県総合教育センター・関市まなびセンター
(1) 無 (2)	多治見市教育研究所
(1) 無 (2)	瑞浪市教育研究所
(1) 無 (2)	恵那市教育研究所
(1) 無 (2)	中津川市教育研修所
(1) 無 (2)	美濃加茂市教育センター
(1) 無 (2)	可児市教育研究所
(1) 有 (2) 聴取5及び聴取12を参照。	愛知県総合教育センター
(1) 有 (2) 【研修部第1研究室】 ①初任者研修会 ②2 ③40分 ①中堅教諭等資質向上研修 ②1 ③20分 ①高等学校初任者研修会 ②1 ③40分	名古屋市教育センター
(1) 有 (2) ①熱中症対策研修 非違行為防止「体罰・不適切な指導」、「情報セキュリティ・個人情報管理」、「ハラスメント」、「交通安全・交通違反」 ICT研修（タブレット活用） ②それぞれ1か月程度公開 ③10分～20分程度	豊田市教育センター
(1) 無 (2)	安城市教育センター
(1) 有 (2) ①「発達障害児童生徒理解講座」「メンタルヘルス研修講座」「生徒指導・生活サポート講座」「論文演習」 ②3週間 ③1時間～1時間半	豊橋市教育会館

(1) 有 (2) ①人権教育講座①「いろいろな場面で人権教育を！」～『人権教育サポートガイドブック』を使って～ ②1日 ③60分	三重県教育委員会事務局
(1) 無 (2)	桑名市教育研究所
(1) 有 (2) ①情報教育講座関係 ②5回 ③40～120分	伊勢市教育研究所
(1) 有 (2) ①研修名→特別支援教育指導者育成研修 ②研修日数→1カ月の間に4本の動画を視聴。 ③視聴時間→30分2本、1時間1本、1時間30分1本、合計3時間30分	津市立教育研究所

【聴取11】法定・悉皆研修における、令和2年度のオンライン研修の実施状況について	
(1) 実施の有無 ① 有 ② 無 (2) (1)で有の場合 ① 方法(双方向型 動画配信型 その他) ② 内容や回数 ③ 今後の方向性	(三重県教育委員会事務局)
(1) 有 (2) ①双方向型 Google Meetを使用。 ②事前に講師及び受講者にアカウント等を配付し参加の仕方を説明をした。 講師(大学教授)の講演はオンラインで実施するが、PCの実技を伴う実習は対面で行った。 回数・・・2回 ③基本的には集合研修(対面実施)としたいが、現在の状況が続けば、上記の方法で実施予定。	富山県総合教育センター
(1) 有 (2) ①双方向型、動画配信型 ②双方向型 社会に学ぶ講話 1回 2、3年次教員研修会 3回 動画配信型 初任者研修 「学級づくりⅠ」 1回 「接遇の基本」 1回 「危機管理」 1回 「保護者対応」 1回 「部活動指導」 1回 通級指導教室担当者研修会 1回 特別支援教育研修会 1回 「不登校等の対応に関する研修会」 1回 「特別の教科道徳」指導に関する研修会 1回	

	富山市教育センター
(1) 有 (2) ①双方向型・動画配信 ②(双方向型)指導案の検討(動画配信)配信動画を視聴する机上研修 ③オンライン研修と集合型の研修の良さと課題を検討し、両者をうまく組み合わせた新たな研修のあり方(ハイブリット型)を考える。	石川県教員総合研修センター
(1) 有 (2) ①双方向集合型及び動画配信 ②生徒指導、道徳教育実践、人権教育(中堅研) ③研修内容により集合型研修かオンライン研修で行うかを決めていく。	金沢市教育プラザ 研修相談センター
(1) 無 (2)	小松市教育研究センター
(1) 有 (2) 今年度導入したもの(昨年度まで初任者4.5日、2年目0.5日分、3年目1日分、中堅0.5日分は配信型研修) ①双方向(Teams、Zoom)動画配信(既存+新規作成)エリア別配信(小規模集合型) ②ライブ配信、小グループ協議、個人面談等 ほぼ全ての研修で実施。 ③オンライン研修は業務改善にも繋がるため、オンラインと集合型を併せたハイブリット研修を増やしていく。	福井県教育総合研究所
(1) 有 (2) ①双方向型、動画配信型、(資料配付による代替研修もあり) ②講師による講義、教科別または課題別グループによる演習 合計4日実施 ③9月末までは①の方法で実施、10月以降は未定	岐阜県総合教育センター・関市まなびセンター
(1) (2)	多治見市教育研究所
(1) 無 (2)	瑞浪市教育研究所
(1) 無 (2)	恵那市教育研究所
(1) 無 (2)	中津川市教育研修所
(1) 無 (2)	美濃加茂市教育センター
(1) 無 (2)	可児市教育研究所
(1) 有 (2) ①動画配信型	

②聴取 5 参照 ③集合研修、オンデマンド研修、オンライン研修の使い分けをし、現下のような事態にも対応できる研修の模索。	愛知県総合教育センター
(1) 有 (2) ①動画配信型、プレゼン音声入り動画 ②指導主事による講義形式のものの多く（研修によって回数はバラバラ） ③今年度の実績を踏まえ、次年度以降は指導主事による講義形式のものは動画配信できるものは移行する予定。	名古屋市教育センター
(1) 有 (2) ①双方向型、動画配信型 ②※丸数字は実施回数 双方向型（新任校長研修①、教頭研修①、新任教頭研修②、教務主任研修①、教育センター研究員研修①） 動画配信型（校長研修①、新任校長研修②、教頭研修①、新任教頭研修②、新任教務主任研修①、教務主任研修②、新任校務主任研修①、校務主任研修②、初任者研修①教科領域等指導員研修②、中堅教員パワーアップ研修②、特別支援教育コーディネーター研修①、10年経験者研修①、5年経験者研修②、2年経験者研修②、理科室準備室整備研修①、虐待対応研修①、いじめ対応研修①、新任保健主事研修①、ICT研修（プログラミング教育）①） ③令和2年度以降も研修内容に応じてオンライン研修を取り入れていく。	豊田市教育センター
(1) 無 (2)	安城市教育センター
(1) 有 (2) 上記に記載済み	豊橋市教育会館
(1) 有 (2) ①方法（双方向型 9 動画配信型 40 延期 10 等） 9 月 30 日まで ② 内容や回数 ・初任者研修 動画配信型（ネット D E 研修） 4 双方向型（Zoom） 1 ・教職 6 年次研修 動画配信型（ネット D E 研修） 2 双方向型（Zoom） 1 ・中堅教諭等資質向上研修 1 動画配信型（ネット D E 研修） 3 双方向型（Zoom） 1 等 ※内容は、各回の研修内容に合わせたもの ③次年度については検討中	三重県教育委員会事務局
(1) 無 (2)	桑名市教育研究所
(1) (2) ※三重県教育委員会事務局で回答。	伊勢市教育研究所
(1) 無 (2)	津市立教育研究所

【聴取１２】希望研修における、令和２年度のオンライン研修の実施状況について

- (１) 実施の有無
① 有 ② 無
- (２) (１) で有の場合
① 方法（双方向型 動画配信型 その他）
② 内容や回数
③ 今後の方向性

(三重県教育委員会事務局)

- (１) 有
- (２) ①双方向型、動画配信型ともに実施
②デジタル教材活用研修会(わかりやすい授業のための動画制作・活用コース)、
動画ファイル(mp4)をセンターHPよりダウンロードし、視聴する。
約１時間。１回。
③基本的には集合研修にしたいが、新型コロナ感染拡大が懸念される状況であれば、動画配信で実施。

富山県総合教育センター

- (１) 有
- (２) ①動画配信型
②「不登校等の対応に関する研修会」 １回
「特別の教科道徳」指導に関する研修会 １回
③研修の在り方としてアクティブラーニングを求めているため、オンラインでも可能ならば検討したい。

富山市教育センター

- (１) 有
- (２) ①双方向型・動画配信型
②ア) 講師による講義、演習をオンラインで実施し、質問を設ける双方向型２回
(７月末までの時点で)
イ) 配信された動画等を視聴し、各所属校で自主的に研修を実施する動画配信型３回
(７月末までの時点で)
③オンライン研修と集合型の研修の良さと課題を検討し、両者をうまく組み合わせた新たな研修のあり方(ハイブリット型)を考える。

石川県教員総合研修センター

- (１) 有
- (２) ①双方向型及び動画配信型
②重要課題等研修 ２回、 特別支援教育選択研修 ４回
③研修内容により研修形態を変えていく。

金沢市教育プラザ 研修相談センター

- (１) 無
(２)

小松市教育研究センター

- (１) 有
- (２) 集合しての研修ができなかったため、本年度に限り、研修の一部をオンライン研修として実施。
①双方向型
②教科別研修(小・中学校国語科書写、中学校国語科、高等学校国語科、小学校理科、高等学校理科、小・中学校道徳科)の６講座
③集合型として実施するが、双方向型のオンラインでの参加も可能とするハイブリッド型で実施予定。

①動画配信型 ②教科別研修（小学校社会科、小学校音楽科、小学校外国語科、中学校英語科、高等学校英語科、プログラミング教育）	福井県教育総合研究所
(1) 有 (2) ①方法（双方向型 動画配信型 その他） 双方向型、動画配信型 ②内容や回数 〈内容〉 授業改善、学級経営、キャリア教育、生徒指導、教育相談、外国人児童生徒特別支援、学校組織、危機管理、防災教育、薬物乱用防止、がん教育、情報教育・ICT、実技、英語外部検定試験、幼児教育、研究開発、特別活動、国際理解、人権教育、コーチング、タイムマネジメント、話し方向上、プレゼンテーション、 〈回数〉 152 ③今後の方向性 単に中止とするのではなく、オンライン研修による可能性を求めていく。	岐阜県総合教育センター・関市まなびセンター
(1) (2)	多治見市教育研究所
(1) 無 (2)	瑞浪市教育研究所
(1) 無 (2)	恵那市教育研究所
(1) 有 (2) ①双方向型 動画配信型 ②1回 ③休校などで活用できるよう準備。	中津川市教育研修所
(1) 無 (2)	美濃加茂市教育センター
(1) 無 (2)	可児市教育研究所
(1) 有 (2) ①動画配信型 ②・職場のメンタルヘルス ～アルコール依存症を知ろう～ ・学校現場の職場ストレスとその対処法 ・理科観察・実験の指導の基礎 ・ESD（持続発展教育）について ・小学校英語の基礎 ・情報モラル ・子どもの安全と安心を守る ・学校における防災管理について ・発達障害の理解① ～基礎的な理解と具体的な支援～ ・発達障害の理解② ～発達障害と他の精神的問題とを見分けるために～	

・行動への支援① ～行動をどのようにとらえるか～ ・行動への支援② ～支援方法を考えるときに重要なこと～ ・感情マネジメント ～自分の感情と上手く付き合うための方法～ ・学習に困難のある児童生徒の理解と支援① ～学習に困難のある児童生徒の理解とアセスメント～ ・学習に困難のある児童生徒の理解と支援② ～学習障害（LD）の理解と支援～ ・校内研修と授業研究の効果的な進め方	愛知県総合教育センター
(1) 有 (2) 【教育相談部教育相談研究 室】 ①動画配信型 ②教育相談研修会（1回）、OJTで進める教育相談講座（1回）、若手教員のための学級集団づくり講座（1回）、教育相談基礎講座（1回）、教育相談発展講座（1回） ③教育相談の研修は専門性が極めて高く、講義で学んだことを少人数での事例検討やグループ協議、演習、グループワーク等で理解を深めていくような集合型研修で行いたい。 【学校情報化支援部】 ①動画配信型 ②ICTの活用や情報モラル11種 再生回数はまだ分からない。 ③今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止による代替措置のため、実施。来年度以降のオンライン研修は、未定。	名古屋市教育センター
(1) 有 (2) ①動画配信型 ②※丸数字は実施回数 ICT研修（学校ホームページ）① ③令和2年度以降も研修内容に応じてオンライン研修を取り入れていく。	豊田市教育センター
(1) 無 (2)	安城市教育センター
(1) 無 (2)	豊橋市教育会館
(1) 有 (2) ①双方向型、動画配信型 ②内容 ・学校マネジメント、校内研修推進 ・情報教育（クラウドの活用、情報モラル、プログラミング教育） ・各教科の授業づくり ・人権教育、外国人児童生徒教育、多文化共生教育、学級経営、特別支援教育 ・教育相談 ・現業職員技術研修 等 回数 9月末までに 68回 ③10月以降は、集合型研修とオンライン研修を組み合わせ実施していく予定である。	三重県教育委員会事務局
(1) 有 (2) ①双方向型 ②言語活動、働き方改革、児童生徒理解など、9講座を予定。 ③次年度以降もオンラインが適していると判断した研修は、行っていく。	

	桑名市教育研究所
(1) 有	
(2) ①ライブ配信型、動画配信	
②ICT活用による学びについて、5回程度	
③コロナ禍がおさまるまでは、今後の研修はオンライン研修にて実施予定。	
移動時間短縮の利点も上がっているため、コロナ禍が落ち着いても活用していく可能性も有り。	
	伊勢市教育研究所
(1) 有	
(2) ①方法→双方向型、動画配信型、オンデマンド型	
②内容や回数→特別支援教育指導者育成研修、1カ月の間に4本の動画を視聴。	
③今後の方向性	
オンラインで実施した方がよい研修内容を精選し、実施方法について検討する。	
	津市立教育研究所

【聴取13】授業におけるタブレット活用に関する令和2年度の研修の有無について	
(1) 実施の有無	
① 有 ② 無	
(2) (1)で有の場合	
① 研修名	
② 対象者	
	(名古屋市教育センター)
(1) 有	
(2) ①研修名	
・授業力向上のためのICT活用研修会	
・情報活用能力の育成(ICT活用と情報モラル)研修会(ICT活用コース)	
②対象者	
県内(幼・小・中・高・特)教員の希望者	
	富山県総合教育センター
(1) 有	
(2) ①ICT活用・授業力UP研修会	②5年次教職員悉皆
①情報活用能力育成研修会	②小中学校1名悉皆
①スペシャル技塾(Google主催)	②希望者
	富山市教育センター
(1) 有	
(2) ①オンラインにおける授業のあり方について	
②県立学校 各学校1名悉皆 市町立学校 希望者	
①「GIGAスクール構想の実現」で授業はどう変わるのか	
②市町立学校 各校1名悉皆 県立学校 希望者	
	石川県教員総合研修センター
(1) 有	
(2) ①ICT活用指導力向上研修	
②各学校を会場に、全教職員(管理職、養護教諭、栄養教諭を除く)	
	金沢市教育プラザ 研修相談センター
(1) 有	
(2) ①「プログラミング研修」「授業におけるタブレット端末の活用について」	
②「プログラミング研修」各校1名のプログラミング担当者とその他希望者	
「授業におけるタブレット端末の活用について」全教職員	

	小松市教育研究センター
(1) 有 (2) ①授業におけるタブレット端末活用研修 ②対象者 小中学校 教員 各市町ごとに行う。 県内10箇所以上で開催予定。 ①タブレット端末活用研修会 ②県内2会場で各校の担当者対象に行う。 ①タブレット端末活用オンライン学習会 ②初級レベルの希望者	
	福井県教育総合研究所
(1) 有 (2) ①「基礎形成研修 ICT活用・著作権」「初任者研修（高特：情報に関する研修）」「ICT活用推進リーダー研修」 ②基礎形成期（採用2～5年目教員）・初任者・県立学校でICT活用を推進する教員	
	岐阜県総合教育センター・関市まなびセンター
(1) 無 (2)	
	多治見市教育研究所
(1) 有 (2) ICT活用推進協議会 各校の情報担当者	
	瑞浪市教育研究所
(1) 有 (2) 検討中	
	恵那市教育研究所
(1) 有 (2) ①未定 ②小中学校教員	
	中津川市教育研修所
(1) 有 (2) ①ICT教育の進め方 ②情報教育推進委員	
	美濃加茂市教育センター
(1) 有 (2) ①ICT教育担当者会 ②各校のICT教育担当者及び希望者	
	可児市教育研究所
(1) 無 (2)	
	愛知県総合教育センター
(1) 有 (2) 【研修部第1研究室】 ①初任者研修会・教職経験者研修会（5年研）・中堅教諭等資質向上研修（10年研）の教科別研修の場面 ②初任者・5年目・10年目の研修受講者全員 【研究調査部第3研究室】 ①ユニット研修（所員が各学校園に講師として出向いて行う研修） ②名古屋市立学校園教員 【学校情報化支援部】 ①ビギナー！タブレット ②小、中、特別支援、高等学校の希望者	

①マスター！タブレット ②小、中、特別支援、高等学校の希望者	名古屋市教育センター
(1) 有 (2) ①ICT研修（タブレット活用） ②全教員（非常勤講師を除く）	豊田市教育センター
(1) 有 (2) ①2年目研修 ②2年目の教諭・養護教諭・栄養教諭 ③3年目研修 ③3年目の教諭・養護教諭・栄養教諭	安城市教育センター
(1) 無 (2)	豊橋市教育会館
(1) 無 (2)	三重県教育委員会事務局
(1) 有 (2) ①ICT推進プロジェクト ②市内教職員	桑名市教育研究所
(1) 有 (2) ①「オンデマンド動画作成・配信研修会」 「ICT活用実証研究事業に係る『Zoom』『ロイロノート』の操作方法及び活用について」 「平井総一郎先生による管理職研修」等 ②小中学校教職員	伊勢市教育研究所
(1) 有 (2) ①端末活用研修会 ②市内の小・中・義務教育学校において授業を受け持っている全教員	津市立教育研究所

【聴取14】令和2年度の日本語指導について	
(1) タブレットのアプリなどを活用した指導の有無 ① 有 ② 無	
(2) (1)で有の場合の活用内容	(名古屋市教育センター)
(1) 無 (2)	富山県総合教育センター
(1) 無 (2)	富山市教育センター
(1) (2) 所管していないので不明	石川県教員総合研修センター
(1) 無 (2)	

金沢市教育プラザ 研修相談センター	
(1) 無 (2)	
小松市教育研究センター	
(1) 有 (2) 外国籍の生徒に対してMetamojiClassroom すららなどを用いて指導する試みを支援した	
福井県教育総合研究所	
(1) 無 (2)	
岐阜県総合教育センター・関市まなびセンター	
(1) 無 (2)	
多治見市教育研究所	
(1) 無 (2)	
瑞浪市教育研究所	
(1) 有 (2) 検討中	
恵那市教育研究所	
(1) 無 (2)	
中津川市教育研修所	
(1) 無 (2)	
美濃加茂市教育センター	
(1) 無 (2)	
可児市教育研究所	
(1) 無 (2)	
愛知県総合教育センター	
(1) 無 (2)	
名古屋市教育センター	
(1) 無 (2)	
豊田市教育センター	
(1) 無 (2)	
安城市教育センター	
(1) 無 (2)	
豊橋市教育会館	
(1) 無 (2)	
三重県教育委員会事務局	
(1) 有 (2) ひらがなやカタカナなどの文字指導や計算練習等	
桑名市教育研究所	

(1) 無 (2)	伊勢市教育研究所
(1) 無 (2)	津市立教育研究所

【聴取１５】令和２年度の特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室の担当教員研修について (1) ICT機器（タブレット）を用いた授業の研修実施の有無 ① 有 ② 無 (2) (1) で有の場合、具体的な内容 (名古屋市教育センター)	
(1) 無 (2)	富山県総合教育センター
(1) 無 (2)	富山市教育センター
(1) 有 (2) 研修名「自立と社会参加に向けた支援ツールとしてのICT活用」 (内容) 様々な困難さを抱える児童生徒の学習指導への効果的なICT活用及び将来の生活の支えとなるICT機器の在り方について理解を深める。	石川県教員総合研修センター
(1) 有 (2) ICT機器を活用した具体的な支援方法	金沢市教育プラザ 研修相談センター
(1) 無 (2)	小松市教育研究センター
(1) 無 (2) ※福井県では、該当の研修は「福井県特別支援教育センター」が担当	福井県教育総合研究所
(1) 無 (2)	岐阜県総合教育センター・関市まなびセンター
(1) 無 (2)	多治見市教育研究所
(1) 無 (2)	瑞浪市教育研究所
(1) 有 (2) 検討中	恵那市教育研究所
(1) 無 (2)	中津川市教育研修所

(1) 無 (2)	美濃加茂市教育センター
(1) 無 (2)	可児市教育研究所
(1) 有 (2) ・特別支援教育講座（自由応募） 【講義：ICT機器の効果的な活用】 特別な教育的ニーズのある児童生徒の支援のために必要なICT機器の効果的な活用等について学ぶ。（大学教授） 【演習：ICT機器の活用の基礎】 【演習②：タブレット端末の活用の基礎】 ICT機器、タブレット端末を活用した具体的な支援・指導の工夫等について学ぶ。 （特別支援学校教諭） ・初任者研修 【講義・実習：教材作成の基礎】 教材作成のための教員用タブレットのさまざまな機能、パワーポイントの使い方について学ぶ。（所員）	愛知県総合教育センター
(1) 有 (2) 【特別支援教育研究室】 学校からの要請を受け現職教育を行った。	名古屋市教育センター
(1) 無 (2)	豊田市教育センター
(1) 無 (2)	安城市教育センター
(1) 無 (2)	豊橋市教育会館
(1) 無 (2)	三重県教育委員会事務局
(1) 無 (2)	桑名市教育研究所
(1) 無 (2)	伊勢市教育研究所
(1) 無 (2)	津市立教育研究所

【聴取１６】各自治体のタブレット端末導入状況について

- (1) 自治体ごとに導入端末が異なるか。
① 異なる ② 同じ

(2) (1) で異なる場合、ipad・windowsタブレット・Chromebook の導入割合（概算） (3) Microsoft365 for education および Google for education のアカウント配付の有無 ① 有 ② 無 (4) (3) で有の場合、何を配付しているか。 ① Microsoft 365 for education ② Google for education	(福井県教育総合研究所)
(1) 異なる (2) iPad 10%・Windowsタブレット 60%・Chromebook 30% (3) 有 (4) ①Microsoft 365 for educationのアカウント ②Google for educationのアカウント	富山県総合教育センター
(1) (2) (3) (4)	富山市教育センター
(1) (2) 公表されていない。 (3) (4) 公表されていない。	石川県教員総合研修センター
(1) (2) 現時点では答えられない。 (3) (4)	金沢市教育プラザ 研修相談センター
(1) (2) (3) (4)	小松市教育研究センター
(1) 異なる (2) 小中…Ipad50% windows25% Chrombook25% 県立…Chrombook100% (3) 有 (4) ①Microsoft 50% ②Google 50%	福井県教育総合研究所
(1) 異なる (2) 【市町村】 Windows 45%・Chrome OS 4%・iOS 38%・未定 13% 【県】 高校は、概ねWindows、特別支援学校は概ねiOS (3) 無 (4)	岐阜県総合教育センター・関市まなびセンター
(1) 異なる (2) iPad 6割 (3) 無	

(4)	多治見市教育研究所
(1) 異なる (2) (3) (4)	瑞浪市教育研究所
(1) 同じ (2) (3) 無 (4)	恵那市教育研究所
(1) 同じ (2) (3) 無 (4)	中津川市教育研修所
(1) (2) (3) (4)	美濃加茂市教育センター
(1) 異なる (2) 不明 (3) 無 (4)	可児市教育研究所
(1) 異なる (2) 管轄が市町村によって異なるため、県全体の導入割合は把握していない。 (3) (3) について、管轄が市町村によって異なるため、アカウント配付の有無は把握していない。 (4) (4) について、詳細は把握していない。	愛知県総合教育センター
(1) (2) 【学校情報化支援部】 聴取16 (1) (2) については、全て回答せず。 (3) 無 (4)	名古屋市教育センター
(1) 不明 (2) 不明 (3) 不明 (4) 不明	豊田市教育センター
(1) 同じ (2) (3) 有 (4) ①	安城市教育センター

(1) 同じ (2) (3) 有 (4) ①Teamsのアカウント	豊橋市教育会館
(1) 異なる (2) (当センターは、所管課でないため、担当課に確認したところ) ※県内29市町 組合立1 ・Windows 12市町等 ・iPad OS 9市町 ・Chrome OS 4市町 ・未定 5市町 (3) 無 (4)	三重県教育委員会事務局
(1) (2) 一自治体では回答不能。 (3) (4)	桑名市教育研究所
(1) (2) ※三重県教育委員会事務局で回答。 (3) 無 (4)	伊勢市教育研究所
(1) 同じ (2) (3) 有 (4) ①Microsoft 365 for education (予定) ※(3)もありと回答したが、今後配付の予定。	津市立教育研究所

【聴取17】ICTを活用した教科指導に関する、令和2年度の研修について (1) 実施の有無 ① 有 ② 無 (2) (1)で有の場合 ①方法 ②内容 ③講師		(三重県教育委員会事務局)
(1) 無 (2)	富山県総合教育センター	
(1) 有 (2) ①集合型研修 ②導入予定の端末を使用した実技指導 ③東京学芸大学 准教授 高橋 准 先生		

信州大学 助教 佐藤 和紀 先生 Google 派遣講師	
	富山市教育センター
(1) 有 (2) ①基本研修 初任者研修 ②講義・演習「タブレット等を用いたICT活用」 ③センター指導主事 ①教科別研修 ②ア) 【小学校・理科】理科の授業で活かせるプログラミング体験 イ) 【中学校・理科】タブレットを活用した実験教材等の作成 ウ) 【高等学校・理科】タブレット端末を活かした高校理科の授業づくり エ) 【中学校・技術】プログラミング教育と中学校技術分野 ③アイウともにセンター指導主事 エは、センター指導主事及び石川県情報システム工業会 会員企業の方	
	石川県教員総合研修センター
(1) 無 (2)	
	金沢市教育プラザ 研修相談センター
(1) 有 (2) ①オンライン ②タブレット端末の活用について ③ソフト納入業者	
	小松市教育研究センター
(1) 有 (2) ①教育総合研究所と5拠点との遠隔研修 ②ICT活用によるわかりやすい授業づくり ③高橋純 東京学芸大学教育学部 准教授 ①訪問型研修 ②授業支援アプリケーションを用いた授業の方法について ③所員 要請があった学校、自治体に対して6件ほど実施	
	福井県教育総合研究所
(1) 有 (2) ①WEB会議システムを利用したオンライン研修 ②校内研修推進のためのリーダー研修・若手教員向けのICT活用の基礎研修・小中学校教員向けの一人一台タブレット活用研修 ③県教委指導主事	
	岐阜県総合教育センター・関市まなびセンター
(1) (2)	
	多治見市教育研究所
(1) 無 (2)	
	瑞浪市教育研究所
(1) 有 (2) ①集合型・双方向オンライン型 ②プログラミング用ツールの使い方・習熟用ソフトの使い方 ③事業者	
	恵那市教育研究所
(1) 有	

(2) ①方法 ②内容 年度末にタブレット研修を検討中 ③講師	中津川市教育研修所
(1) 有 (2) ①公開授業をもとにした実践研修 ②ICTを活用した教科指導の実際を参観し合い、 活用の仕方について研修する。	美濃加茂市教育センター
(1) 無 (2)	可児市教育研究所
(1) 有 (2) ①教員用タブレットPCやiPad等を利用 ②(ア) 高等学校初任者研修(情報)、特別支援学校初任者研修(情報)、(イ) 特別支援 教育講座アシスティブテクノロジーセミナー ③(ア) は所員、(イ) は大学教授及び特別支援学校教諭	愛知県総合教育センター
(1) 有 (2) 【研修部第1研究室】 ①教科に関する研修場面で指導主事からの講義や実演等。 ②タブレットの基本的な使い方の説明や教科での活用場面の紹介。 ③指導主事 【学校情報化支援部】 ①新型コロナウイルス感染拡大防止のため、研修内容を動画資料にして提供。 ②各教科等で、タブレットを効果的に活用した事例の紹介。 ③実践協力者から、資料を提供されたものを指導主事がまとめ、紹介。	名古屋市教育センター
(1) 無 (2)	豊田市教育センター
(1) 無 (2)	安城市教育センター
(1) 無 (2)	豊橋市教育会館
(1) 有 (2) 理科の公開授業を伴う研修(遠隔で実施)等で、実験用シミュレーションソフトを活用 した授業を扱うことを検討中。	三重県教育委員会事務局
(1) 有 (2) ①オンライン研修 ②ロイロノートの使い方 ③澁谷洋平	桑名市教育研究所
(1) 無 (2)	伊勢市教育研究所

- (1) 有
- (2) ①方法：勤務校におけるオンライン研修
②内容：授業支援ツールを活用した授業づくり
③講師：授業支援ツールのメーカー担当者及び津市教育委員会事務局指導主事
- 津市立教育研究所

【聴取１８】学習指導要領に基づく各教科における評価についての研修について

- (1) 実施の有無
① 有 ② 無
- (2) (1)で有の場合
①方法
②内容
③講師

(三重県教育委員会事務局)

- (1) 有
- (2) ①各自が作成した定期考査等の問題を基にした研修
②協議及び助言
③指導主事

富山県総合教育センター

- (1) 無
- (2)

富山市教育センター

- (1) 有
- (2) ①基本研修 初任者研修
②講義「自らの授業を改善するための評価の在り方」
講義「各教科における評価の観点と評価方法」
演習「場面や観点に応じた評価の実際」
③鳴門教育大学大学院 教授 前田 洋一
①教科別研修
②小学校の教科別研修（国語・算数）において、評価をテーマにした講座を設置した。
③（国語）東京都教育庁指導部 主任指導主事 西川さやか
（算数）文部科学省 教育課程調査官 笠井 健一

石川県教員総合研修センター

- (1) 無
- (2)

金沢市教育プラザ 研修相談センター

- (1) 無
- (2)

小松市教育研究センター

- (1) 有
- (2) ①訪問型研修
②新学習指導要領に基づく学習評価の全体概要と各教科の学習評価について
③教育総合研究所 所員

福井県教育総合研究所

- (1) 有
- (2) ①経年研修、選択研修の内容の一部に含める、オンライン研修による講義
②文科省資料の説明、指導と評価の一体化
③県教育委員会指導主事

岐阜県総合教育センター・関市まなびセンター	
(1)	
(2)	
多治見市教育研究所	
(1) 無	
(2)	
瑞浪市教育研究所	
(1) 無	
(2)	
恵那市教育研究所	
(1) 有	
(2) ①方法	英語主任・外国語担当教員を対象
②内容	新学習指導要領に基づく「主体的・対話的で深い学び」の実現と評価の仕方
③講師	県 指導主事
中津川市教育研修所	
(1) 有	
(2) ①集合型研修	②考え議論する道徳の指導と評価について
③県道徳研究部会の会長	
美濃加茂市教育センター	
(1) 無	
(2)	
可児市教育研究所	
(1) 有	
(2) ①教科指導研修の中の一部で、講師が説明する。	
②文科省等から示されている評価の在り方の概要	
③大学教員及びセンター所員、学校現場教員	
愛知県総合教育センター	
(1) 有	
(2) 【研修部第1研究室】	
①教科に関する研修場面で指導主事からの講義	
②国立教育政策研究所から示された資料を基にして説明	
③指導主事	
【教育相談部特別支援教育研究室】	
①名古屋市内16区特別支援学校・支援学級・通級指導教室より評価についてのコメントをもらった。	
②研修会自体は中止となったが、もらったコメントについての指導助言や各学校で伝達する内容を各区の代表者に伝えた。	
③なし	
名古屋市教育センター	
(1) 有	
(2) ①動画配信	
②教務主任研修、教科領域等指導員研修の中で、「新学習指導要領が目指す授業づくりと学習評価」のテーマで動画配信を行った。	
③愛知教育大学 教職大学院 特任教授	
豊田市教育センター	
(1) 無	
(2)	
安城市教育センター	
(1) 無	

(2)	豊橋市教育会館
(1) 有	
(2) ①遠隔 (Zoom) または動画配信による講義 (教科等研修10講座)	
②学習指導要領に基づく指導の在り方の一環として講座の中で扱う。	
③大学教授等	
	三重県教育委員会事務局
(1) 有	
(2) ①集合研修	
②指導と評価の一体化、教科別の具体事例	
③県教委の指導主事をお願いした。	
	桑名市教育研究所
(1) 無	
(2)	
	伊勢市教育研究所
(1) 有	
(2) ①方法→パンフレットとDVDに指導主事が作成した動画を保存し、各校に配付。	
各学校からの指導主事要請訪問を受け、指導主事が校内研修等で講義を行う。	
②内容→新学習指導要領のめざすもの、指導と評価の一体化について	
③講師→市教育委員会事務局指導主事	
	津市立教育研究所

【聴取19】令和元年度において、所員が、各学校を訪問して行う研修について	
(1) 実施状況 (規模 [参加人数等]、年間件数など)	
(2) 実施内容	
(3) 実施方法 (オンライン打合せ、申し込み手続きなど)	
(4) 事後処理 (OJT推進への取り組みなど)	
	(福井県教育総合研究所)
(1) 理科に関するもの 年間22回、569名 情報に関するもの 年間25回、2238名 学力向上に関するもの 年間27回、551名	
(2) 理科・・・授業で使える楽しい教材・ものづくり、教材・教具の基本的な取扱い等 情報・・・授業におけるICT活用、タブレットを使った授業実践、プログラミング教育等 学力・・・全国学力・学習調査の問題分析・結果分析や授業研究・授業分析からの校内研修等	
(3) 事前に電話等で打ち合わせの後、申込書を提出。	
(4) 特になし	
	富山県総合教育センター
(1) ア) 富山市立小学校 (222学級) 5年生児童 (3,352名) 6年生児童 (3,379名) 富山市立中学校 (100学級) 1年生生徒 (3,541名) イ) 2校 ウ) 14校	
(2) ア) 情報モラル講座 イ) 校内研修支援 (思考ツールの活用、板書の在り方) ウ) 出前講座「ICT活用等支援」 (プログラミング教育についての校内研修、児童生徒への情報モラル指導)	
(3) 電話及び申込み書の送付により、手続きを行う。	
(4)	

	富山市教育センター
(1) 年間件数539件 (2) ①若プロアシスト 若手教員早期育成プログラム（県の事業）に関するサポート ②学校アシスト 校内研修や個人研修に関するサポート ③地域アシスト その他の団体（教科ごとの教育研究会等）の研修等に関するサポート (3) オンラインによる申込手続き、電話やメールによる事前打ち合わせ（各学校のニーズを把握し、研修内容を決定） (4) 各所員が報告書を作成、市町立学校においては、各教育事務所、市町教育委員会が必要に応じて、閲覧することができる。年度末において、サポート実施校の校長にアンケートを実施。	
	石川県教員総合研修センター
(1) 41人、13件 (2) 研究授業を参観し、指導・助言を行う。 (3) 電話または申込用紙を用いて、本センターへ申し込む。 (4) 受講者は報告書を提出する。	
	金沢市教育プラザ 研修相談センター
(1) 行っていない。 (2) (3) (4)	
	小松市教育研究センター
(1) 令和元年度は、9,183人、891件 (2) 教科指導（評価、県学力調査等）、学校改善（組織マネジメント、カリキュラムマネジメント等）、情報教育（ICT、タブレット活用、プログラミング等）、教育相談・生徒指導等（Q-U、ピアサポート、ポジティブ教育等） (3) 各学校からの依頼に対し、日程、内容等を打ち合わせ、単発の研修にならないように計画。 (4) 研修の後にとる事後アンケートに加え、2か月後の状況をお知らせ頂くアンケートを実施。	
	福井県教育総合研究所
(1) 参加人数：合計321人（各学校参加職員数）、 年間件数：20件（小13件、中6件、高1件） (2) 授業改善、学校組織マネジメント、教育相談、特別支援教育、ICT活用 (3) 管理職からのメールまたは電話による申し込み、打合せ。 (4) 終了・還元アンケートの実施	
	岐阜県総合教育センター・関市まなびセンター
(1) ・市の課題研究指定校への訪問が年間8回程度 ・小学校へmPotを活用したプログラミング研修 (2) (3) (4)	
	多治見市教育研究所
(1) (2) (3) (4)	
	瑞浪市教育研究所
(1)	

(2) (3) (4)	
	恵那市教育研究所
(1) 学校訪問のみ 年間100回程度 公開授業参観と授業研究会 (2) (3) (4)	
	中津川市教育研修所
(1) (2) (3) (4)	
	美濃加茂市教育センター
(1) 特に無い (2) (3) (4)	
	可児市教育研究所
(1) 教育研究リーダー養成研修（所員28名、受講者1名に対して各2回） (2) 各校種・地区から推薦された33名の受講者が個々に研究テーマを設定し、所員が個別に指導に当たる。 (3) (1)の研修の一環として、年2回受講者の学校を訪問し、管理職との面談及び授業等の様子を参観・指導する。 (4) ミドルリーダーの育成と、課題解決を通じた研究についてのOJTの推進を管理職にも伝えている。	
	愛知県総合教育センター
(1) 【研修部第1研究室】 初任者研修会・教職経験者研修会・中堅教諭等資質向上研修の受講者で訪問要請のある学校へ年間198件訪問。 【研究調査部第3研究室】 ユニット研修及びオーダー研修 147件 【教育相談部教育相談研究室】 教育相談について（1校）子ども教育相談「ハートフレンドなごや」の相談（1校）事例検討の進め方（1校） 【教育相談部特別支援教育研究室】（1） 17回 (2) 【研修部第1研究室】 授業参観後に1時間指導・助言 【研究調査部第3研究室】 ユニット研修は、14種類のパッケージ化された研修の中から各学校園が選択して取り組む研修。オーダー研修は、各学校園の課題に応じて、所員と学校園とで話し合って内容を決める研修。 【教育相談部教育相談研究室】 管理職や教育相談担当、学級担任との面談、打合せ 【教育相談部特別支援教育研究室】	

学校コンサルテーション、特別支援学校アドバイザー、就学説明会、授業参観等 (3) 【研修部第1研究室】 打合せは所員と当該校教務主任の電話連絡 申込みは学校から要請希望表を提出。 【研究調査部第3研究室】 管理職からの電話申込 【教育相談部教育相談研究室】 管理職からの電話申込 【教育相談部特別支援教育研究室】 管理職からの電話申込 (4) 【研究調査部第3研究室】 名古屋市教育センター発行のOJTリーフレットの活用を勧めている。 名古屋市教育センター	(1) 年間80校（小学校60校、中学校19校、特別支援学校1校）を訪問。 (2) いじめ、虐待対応、1教育相談、不登校対応、保護者対応、特別支援教育について、講義と実習を取り入れた研修を実施。 (3) 各校の希望制 (4) アンケートを実施し、研修内容の改善を図っている。アンケート結果を発達センターに提供し、情報共有を図っている。 豊田市教育センター
(1) まだ実施していないが2学期に予定あり。 (2) Q-Uの結果の見取り・活用等の研修 (3) 担当者は直接申込ができ、学校を訪問して実施する。 (4) 校内OJTにより。見取り・学級経営への活用についてさらに深めていく。 安城市教育センター	(1) (2) (3) (4) 豊橋市教育会館
(1) 年間件数6件で、参加のべ人数合計230名 (2) 「心の健康教育」など (3) 公開授業研として、校内研修に他校からも参加できる形態、事後研あり。 (4) 研究所の広報に載せ、各校に合わせた授業実施を促した。 三重県教育委員会事務局	(1) 各学校の校内研修会、保護者参加型の講演会として実施 (2) ICTアドバイザーによる情報モラル講演会、ICT支援員が支援に入るプログラミング教室、ICT活用に係る研修会 (3) 集合研修 (4) 後日、校内にて還元、研修等 桑名市教育研究所
(1) 学校全体での研修会及び担当者単位での研修会。年間20回程度。 (2) 津市e-Laerningポータルの活用について 伊勢市教育研究所	

- (3) 各学校から担当者に直接申し込み、担当者が訪問校で実際にポータルサイトを使って実践的な研修を行う。
- (4) 不具合や不明な点については、研究所に問い合わせることで、担当者が対応し、各学校の教員のスキルを高める。

津市立教育研究所

【聴取20】総合的な探究の時間などにおいて地域と協働した学びの在り方に関する研修について

- (1) 実施の有無
① 有 ② 無
- (2) (1) で有の場合
① 形態（講義形式、講義と演習など）
② 内容
③ 研修を行うにあたって、課題と感じていること

(福井県教育総合研究所)

- (1) 無
(2)

富山県総合教育センター

- (1) 無
(2)

富山市教育センター

- (1) 無
(2)

石川県教員総合研修センター

- (1) 無
(2)

金沢市教育プラザ 研修相談センター

- (1) 無
(2)

小松市教育研究センター

- (1) 有
(2) ①集合型研修 ワークショップ中心
②大学生や大学講師と参加者が地域課題について学びあうワークショップを行う。
③参加者をどう増やすか、開催場所(福井県は古民家でおこなっている)

福井県教育総合研究所

- (1) 有
(2) ①形態（講義形式、講義と演習など）
講義と演習
②内容
学習指導要領の趣旨を踏まえ、探究課題の設定やカリキュラム作成の具体を演習を通して学び、探究的な学習について理解する。
③研修を行うにあたって、課題と感じていること
各校探究課題は違うため、講義として事例はあげるものの、それぞれのニーズに合ったものとはなりにくい。

岐阜県総合教育センター・関市まなびセンター

- (1) 無
(2)

多治見市教育研究所

- (1) 無

(2)	瑞浪市教育研究所
(1) 無 (2)	恵那市教育研究所
(1) 無 (2)	中津川市教育研修所
(1) 有 (2) ①講義形式 ②美濃加茂市の歴史探訪、美濃金山城付近の地質と城の歴史、明智光秀の人物像 ③講師との打ち合わせ	美濃加茂市教育センター
(1) 無 (2)	可児市教育研究所
(1) 無 (2) ただし、聴取事項に関わる研究調査を今年度から行っている。	愛知県総合教育センター
(1) 無 (2)	名古屋市教育センター
(1) 無 (2)	豊田市教育センター
(1) 無 (2)	安城市教育センター
(1) 無 (2)	豊橋市教育会館
(1) 無 (2)	三重県教育委員会事務局
(1) 無 (2)	桑名市教育研究所
(1) 無 (2)	伊勢市教育研究所
(1) 無 (2)	津市立教育研究所

【聴取２１】県・地域が実施している学力に関する調査について

- (1) 実施の有無
 ① 有 ② 無
 (2) (1) で有の場合、その内容
 (3) 本年度の予定の有無

① 有 ② 無	
(4) (3) で有の場合、その実施内容	(福井県教育総合研究所)
(1) 有 (2) 小学校教育研究会、中学校教育研究会作成の学力調査 (3) 有 (4) 学力調査(小3以上)年1回、学力調査(中1～3)年1回	富山県総合教育センター
(1) (2) (3) (4)	富山市教育センター
(1) 有 (2) センターの所管ではない。 (3) 無 (4) センターの所管ではない。	石川県教員総合研修センター
(1) 有 (2) 小学6年 小学校英語学力テスト(金沢市) (3) 有 (4) 11月末	金沢市教育プラザ 研修相談センター
(1) 無 (2) (3) 無 (4)	小松市教育研究センター
(1) 有 (2) 教科別調査と質問紙調査 小学校5学年(4教科)、中学校2学年(5教科) (3) 有 (4) 教科別調査と質問紙調査 小学校5学年(4教科)、中学校2学年(5教科) ※実施期間、実施時間を変更	福井県教育総合研究所
(1) 無 (2) (3) 無 (4)	岐阜県総合教育センター・関市まなびセンター
(1) 有 (2) 小学校2年～5年で、NRT検査 (3) 有 (4) 休校明け7月中旬までに実施。	

	多治見市教育研究所
(1) 有 (2) CRT検査を実施（中2と小5対象） (3) 有 (4) 例年は全学校実施している。本年度に限り希望する学校のみ。	
	瑞浪市教育研究所
(1) 有 (2) NRT学力調査 (3) 有 (4) 各学校で期日を設定して行う。	
	恵那市教育研究所
(1) 有 (2) (3) 無 (4)	
	中津川市教育研修所
(1) (2) (3) (4)	
	美濃加茂市教育センター
(1) 有 (2) 岐阜県学習状況調査 (3) 無 (4)	
	可児市教育研究所
(1) 有 (2) 【対象】参加を希望する愛知県内の国・公・私立高等学校の新入生徒 【内容】国語、数学、及び英語の高等学校での学習内容を理解するために必要とされる習得状況を調査するための問題 【方法】参加校から、平均点、抽出答案による設問ごとの正答率を集約し、それを基に学力傾向等を分析する。 (3) 有 (4) ・実施済み ・正答率等の集約期限を例年の5月上旬から、約1か月遅らせて、6月19日とした。 ・参加校及び受験者数は例年と比べて三分の一程度に減少した。 令和元年度【国語】約120校、約26,000人【数学】約120校、約30,000人【英語】約130校、約28,000人 令和2年度【国語】約40校、約7,500人【数学】約40校、約9,000人【英語】約40校、約8,000人	
	愛知県総合教育センター
(1) (2) 所管ではないため回答せず。 (3) (4) 所管ではないため回答せず。	
	名古屋市教育センター
(1) 有 (2) 中学1年生から中学3年生までを対象にした、国・数・理・社・英の学習診断テストを	

実施。 (3) 有 (4) 中学1年生・2年生：1月に実施 中学3年生：9、11、1月に実施	豊田市教育センター
(1) 無 (2) (3) 無 (4)	安城市教育センター
(1) 無 (2) (3) 無 (4)	豊橋市教育会館
(1) 有 (2) ・全国学力学習状況調査における児童生徒質問紙における「授業で主体的・対話的に学習に取り組んでいると感じる子どもたちの割合」等の数値を、研修講座の構築にいかしている。 ・当センターの所管ではないが、三重県の児童生徒に確かな学力を育むため、「みえスタディ・チェック」という学力に関する調査（実施教科：国語、算数・数学、理科）を県内小学校4・5年生と中学1・2年生を対象に実施している。 (3) 有 (4) 「みえスタディ・チェック」の実施	三重県教育委員会事務局
(1) 無 (2) (3) 無 (4)	桑名市教育研究所
(1) 有 (2) みえスタディチェック、CRT (3) 有 (4) みえスタディチェック、CRT	伊勢市教育研究所
(1) 有 (2) 小学校及び特別支援学校小学部4・5学年を対象に、国語、算数で調査する。 中学校及び特別支援学校小学部1・2学年を対象に、国語、数学で調査する。 (3) 有 (4) 対象と内容は変更しないが、実施日が9月30日（水）までと変更された。	津市立教育研究所

【聴取22】研修を受講した際のレポート等の成果物について

- (1) データ蓄積の有無
① 有 ② 無
- (2) (1) で有の場合
① データ蓄積の方法
② 活用の方法

③ 蓄積方法・活用方法の課題や改善の方向性 (3) 今後の導入予定・導入方法	
	(福井県教育総合研究所)
(1) 有 (2) ①データ及び紙媒体 ②次年度研修計画立案時の資料 ③蓄積したデータを十分活用していない。 (3) 現状どおり	富山県総合教育センター
(1) 有 (2) ①紙面 ②研修の記録及び効果測定、研修内容の見直し等 ③課題：研修の効果測定 (3) 今後検討	富山市教育センター
(1) 有 (2) ①デジタルデータとして、県教育委員会が所管する「スマートスクールネット」にアップロードしている。 ②【教科指導リーダー養成研修で作成した指導案等】 ア) センター研修講座で活用 イ) 各教員が自分の授業改善のために閲覧し、活用 ウ) 各学校における校内研修で活用 【教科指導リーダー養成研修の受講者の授業DVD】 センター及び各教育事務所に配架し、貸し出ししている。 ア) センター研修講座で活用 イ) 各教員が自分の授業改善のために閲覧・活用 ウ) 各学校における校内研修で活用 ③いつでも活用できる環境整備はできたので活用回数や場面をいかに増やすかが今後の課題 (3)	石川県教員総合研修センター
(1) 無 (2) (3) 未定	金沢市教育プラザ 研修相談センター
(1) 無 (2) (3)	小松市教育研究センター
(1) 有 (2) ①データ蓄積の方法 「研修講座申込システム」にデータをアップロード ②活用の方法 受講者自身がデータを閲覧できるため、実践等の振り返りの材料とする。 ③蓄積方法・活用方法の課題や改善の方向性 一部の研修でしか蓄積・活用できていないため、幅広い研修での活用を計画・実施していく。 (3)	福井県教育総合研究所
(1) 有	

(2) ①クラウド ②集計結果をもとに研修の改善に生かす。 ③特になし (3)	岐阜県総合教育センター・関市まなびセンター
(1) (2) (3)	多治見市教育研究所
(1) 無 (2) (3)	瑞浪市教育研究所
(1) 有 (2) (3)	恵那市教育研究所
(1) 有 (2) 毎回、数値を入力し年度末に目標値に達したか振り返り、次の実施に活用。 (3)	中津川市教育研修所
(1) (2) (3)	美濃加茂市教育センター
(1) 無 (2) (3) 導入予定は無い	可児市教育研究所
(1) 有 (2) ①紙 ②経年比較 ③ねらい、理解度、達成度、満足度等を聞くことで、次年度の研修計画に生かす。 (3) 研修者のポートフォリオを作成していく予定はない。また、レポート等をもとにした研究の予定もない。	愛知県総合教育センター
(1) 有 (2) 【研修部第2研究室】 ①DVD ②市内の全市立の学校に配付 ③活用方法の課題や改善の方向性：特になし 【教育相談部特別支援教育研究室】 ①紙面 ②参考資料 ③とくになし (3) 予定なし	名古屋市教育センター
(1) 有 (2) ①教職員データベースの「振り返りシート」に研修で学んだことと研修内容の評価を入力。 ②記述を分析したり、評価を集計したりして、研修の改善のための資料とする。 ③県外での教職経験年数や、産休などの休暇による経験年数処理の精度が低いことが課	

題。より精度が高いシステムにするために改良を行う。 (3) 今後も継続していく。	豊田市教育センター
(1) 無 (2) (3)	安城市教育センター
(1) 有 (2) ①紙媒体 ②講師へのお礼・満足度の集約・次回への活用 ③? (3)	豊橋市教育会館
(1) 有 (2) ①PDF化し、データで保存 ②県総合教育センターホームページでの公開 ③データ量が大きいので、1年分しか掲載できない。 (3) 特にありません。	三重県教育委員会事務局
(1) 無 (2) (3) 今後の講座設定の参考とするため、引き続きアンケートは行っていく。	桑名市教育研究所
(1) 無 (2) (3) 導入予定なし	伊勢市教育研究所
(1) 無 (2) (3) 津市e-Laeraningポータルではレポートの提出も可能なため、受講者のポートフォリオなど、データの蓄積・活用方法について現在検討中。	津市立教育研究所

【聴取23】研修履歴を管理するシステムについて (1) 研修受講希望の集約方法 (2) 各教員の履歴を記録する方法 (3) 各教員への研修履歴の通知方法 (名古屋市教育センター) (豊田市教育センター)	
(1) 公立学校は電子申請システムを利用。国・私立学校は紙媒体による。 (2) 公立学校は電子申請システムを利用。国・私立学校は紙媒体による。 (3) 特に実施していないが、公立学校は電子申請システムで確認可能。	富山県総合教育センター
(1) 年度末及び年度当初に行う「年次研修 受講対象者等名簿」の作成・提出及び年度当初に行う。「研修受講申込み」 (2) 教育センターにおけるエクセルを用いた記録と各教員における「キャリア・プランシート」の活用。 (3) 特になし	富山市教育センター

(1) 研修情報システムを通じて、各学校よりオンラインで研修申込を行う。(令和2年度にリニューアル) (2) 研修情報システムの一環として、個人が使用する「研修My Page」を設置し、自分の研修履歴を確認できるシステムを導入した。 (3) 各教員が自分のIDとパスワードを使って、いつでも履歴確認できる。	石川県教員総合研修センター
(1) 各校が受講希望者名簿の電子データを提出する。 (2) 県と同様 (3) 県と同様	金沢市教育プラザ 研修相談センター
(1) 学校単位で電子データによる一覧表の提出。 (2) なし (3) なし	小松市教育研究センター
(1) 研修講座申込システム(県内の公立学校教員が登録されている)を使って、各個人が申込み、管理職がシステム上で承認する。講座担当者(教育総合研究所所員等)は、システム上で参加者の情報を確認できる。 (2) 各研修の担当者が、研修終了後「研修講座申込システム」上で受講記録を入力する。 (3) 上記(2)完了後は、システムにログインすれば各教員がいつでも自身の研修履歴閲覧が可能。校長は所属教員の研修履歴閲覧が可能。	福井県教育総合研究所
(1) 研修申込システムによる希望者数の集約 (2) 研修申込システムによる履歴の自動記録 (3) 個人で閲覧する。	岐阜県総合教育センター・関市まなびセンター
(1) (2) (3)	多治見市教育研究所
(1) (2) (3)	瑞浪市教育研究所
(1) 共有ドライブ内で名簿に記入する。 (2) (3)	恵那市教育研究所
(1) (2) (3)	中津川市教育研修所
(1) (2) (3)	美濃加茂市教育センター
(1) 各校にて取りまとめ、メールやFAXで応募してもらう。 (2) 各自が研修記録カードに記入する。 (3) 無い	可児市教育研究所

(1) エクセルファイルをメールにて集約している。 (2) なし (3) なし	愛知県総合教育センター
(1) 【研修部第2研究室・研究調査部第3研究室】 各学校園の管理職が集約した自校園の教職員の受講希望を、管理職の校務用PCから研修応募システムに入力してもらっている。 (2) 【研修部第2研究室・研究調査部第3研究室】 履歴記録していない。 (3) 【研修部第2研究室・研究調査部第3研究室】 研修履歴を通知していない。	名古屋市教育センター
(1) 教職員データベースに教頭が受講者を登録する。 (2) 教職員データベースに受講履歴が残る。 (3) 年度当初に各教員が教職員データベースを確認する。	豊田市教育センター
(1) 該当教員を各学校で洗い出し、担当指導主事に報告。 (2) 各教員ごとの履歴の記録はなし。(担当指導主事はその年度の全研修についての受講者を集約し、研修を実施。その集約一覧が履歴として残る。) (3) 特になし	安城市教育センター
(1) 名簿データで提出 コピペで集約 (2) 基本研修のみエクセル (3) 基本研修受講者は内示で各学校へ	豊橋市教育会館
(1) Webからの申し込みをシステムで集約 (2) システムで管理(一部) (3) 各教員で管理	三重県教育委員会事務局
(1) Googleフォームへ各教職員が入力したものを集約 (2) アンケート集約もGoogleフォームを使って集約 (3) 特に通知なし	桑名市教育研究所
(1) HP、FAX、電話、様式提出 (2) なし (3) なし	伊勢市教育研究所
(1) 研修受講希望の集約方法→研修によってはコラボノート(市内共有ポータルサイト)にて集約している。 (2) 各教員の履歴を記録する方法→津市e-Laerningポータルでは誰が、どのコンテンツを、いつ、何回視聴したか把握することができ、レポートも提出することができる。 (3) 各教員への研修履歴の通知方法→津市e-Laerningポータルと本市のグループウェアを連動させ、受講者に提出物等の確認メールを送信できるように設定し、研修が終了しているか未終了かを把握できるようにしている。	津市立教育研究所

【聴取24】令和2年度の特別支援教育を担当する指導主事について

- (1) 特別支援教育を担当する指導主事について、特別支援教育関連の学校訪問に

指導主事を派遣しているか。 ① 有 ② 無 (2) (1) で有の場合、のべ何回派遣しているか。 ① 授業研究の指導助言 ② 指導法、授業改善に関する研修 ③ その他 (3) (1) で有の場合、学校訪問を行って効果があったこと	(名古屋市教育センター)
(1) 有 (2) ①69回 ②58回 ③その他（学校支援訪問研修（サテライト））6回 (3) 特別支援学級等新任担当教員研修会では、初めて特別支援学級等を担当する教員の勤務校に訪問し、悩みや困りに応じた対応を行うため、訪問した学校の教員からは「より具体的な助言や明日からの実践に役立つ情報が得られる」と毎回好評である。	富山県総合教育センター
(1) (2) (3)	富山市教育センター
(1) 有 (2) ①1回 ②1回 ③0回 (3) 令和2年度4～7月の実施数である。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため訪問を控えていた期間があり、例年より少ない。	石川県教員総合研修センター
(1) 無 (2) (3)	金沢市教育プラザ 研修相談センター
(1) 有（センターとしての派遣ではなく、市教委の学校訪問に同行している。） (2) ①0 ②市内全小中学校で1回ずつ ③0 (3) 特別支援学級の授業改善、教員の特別支援教育に関する理解促進	小松市教育研究センター
(1) 無 (2) ※福井県では、該当の研修は「福井県特別支援教育センター」が担当 (3)	福井県教育総合研究所
(1) 無 (2) (3)	岐阜県総合教育センター・関市まなびセンター
(1) 無 (2) (3)	多治見市教育研究所
(1) 有 (2) ①②は学校の要請によって実施。（年間2～3回）	

修学に係る相談等は、随時訪問。 (3) 保幼小中の連携と、引継ぎができる。情報の共有ができる。円滑な支援計画等の引継ぎができる。	瑞浪市教育研究所
(1) 有 (2) ① 2回 ② ③ 6回 (3) 教職員の意識の高まりが見られ、具体的な対応について共通理解できた。	恵那市教育研究所
(1) 有 (2) ①授業研究の指導助言 年数回 (3) 学校の実態や生徒の様子を把握し、具体的な指導や関連する研修につなげている。	中津川市教育研修所
(1) (2) (3)	美濃加茂市教育センター
(1) 無 (2) (3)	可児市教育研究所
(1) 無 (2) (3)	愛知県総合教育センター
(1) 有 (2) ① 0回 ② 14回 ③ 0回 (3) ・新しい情報を取り入れ子どもたちの指導に生かそうとしてくれた。 ・教室を整理整頓し環境面においても配慮する兆しが見えた。	名古屋市教育センター
(1) 有 (2) ① 0回 ② 0回 ③ 1回 (3) 令和2年度の学校訪問は、令和2年11月4日に実施するため、効果については記述できない。	豊田市教育センター
(1) 無 (2) (3)	安城市教育センター
(1) 有 (2) ① 2、3回 ② 5、6回 (3) 意識の向上 正しい知識の習得	豊橋市教育会館
(1) 当センターでは、所管が異なり、特別支援教育担当指導主事が在籍しておりません。 (2)	

(3)	三重県教育委員会事務局
(1) 無 (2) (3)	桑名市教育研究所
(1) (研究所としては実施していないが、他課での実施有り。) (2) (3)	伊勢市教育研究所
(1) 有 (2) ①授業研究の指導助言→指導主事一人あたりおよそ15回 ②指導法、授業改善に関する研修→指導主事一人あたりおよそ10回 ③その他→指導主事一人あたりおよそ20回 (3) 特別支援教育関連の学校訪問では、単に研修会での講師としての役割を果たすだけでなく、日頃の授業や活動の様子を観察し、児童生徒一人一人の特性を考慮した手立てや支援内容について、特別支援学級の担任や管理職と共に考えられる機会を設けるようにしている。そのため、教員が個に応じた手立てや児童生徒の見方について考えるようになり、実践に生かすことができるようになってきている。	津市立教育研究所

【聴取25】教育相談について	
(1) SNSを活用した相談体制の有無 ① 有 ② 無	
(2) (1)で有の場合、具体的な実施方法	(名古屋市教育センター)
(1) 無 (2)	富山県総合教育センター
(1) 無 (2)	富山市教育センター
(1) 無 (2)	石川県教員総合研修センター
(1) 無 (2)	金沢市教育プラザ 研修相談センター
(1) 無 (2)	小松市教育研究センター
(1) 無 (2) ※福井県では、教育庁がLINEによる相談を実施している。	福井県教育総合研究所
(1) 有 (2) SNSを活用した相談窓口を開設し、県内の公立小・中学校（義務教育学校含む）、私立中学校、公立高等学校、私立高等学校、特別支援学校（中学部、高等部）の生徒を対象に悩み相談を実施する。 期間 I期：令和2年5月6日（水）～6月12日（金）（38日間）	

II期：令和2年8月22日（土）～9月4日（金）（14日間） III期：令和3年1月6日（水）～1月15日（金）（10日間） 岐阜県総合教育センター・関市まなびセンター	
(1) 無 (2)	多治見市教育研究所
(1) 無 (2)	瑞浪市教育研究所
(1) 無 (2)	恵那市教育研究所
(1) 無 (2)	中津川市教育研修所
(1) 無 (2)	美濃加茂市教育センター
(1) 無 (2)	可児市教育研究所
(1) 無 (2)	愛知県総合教育センター
(1) 無 (2)	名古屋市教育センター
(1) 無 (2)	豊田市教育センター
(1) 無 (2)	安城市教育センター
(1) 無 (2)	豊橋市教育会館
(1) 有 (2) ・活用ツール：LINE ・相談対象：県内の中学生、高校生 ・相談内容：双方向の相談 ・相談受付期間：通年（年末年始を除く） ・相談受付日時：平日17時～21時	三重県教育委員会事務局
(1) 無 (2)	桑名市教育研究所
(1) 無 (2)	伊勢市教育研究所

- (1) 無
(2)

津市立教育研究所

【聴取 2 6】令和 2 年度の相談業務に従事する専門家配置の有無について

- (1) 臨床心理士の配置の有無
① 有 ② 無
(2) (1) で有の場合
① 具体的な勤務体系
② 人数
(3) 社会福祉士の配置の有無
① 有 ② 無
(4) (3) で有の場合
① 具体的な勤務体系
② 人数

(愛知県総合教育センター)

- (1) 有
(2) ① 客員研究主事
② 1 人
(3) 無
(4)

富山県総合教育センター

- (1) 有
(2) ① 1 日 1 名配置 (9 ~ 17 時)
② 全 3 名
(3) 無
(4)

富山市教育センター

- (1) 有
(2) 所管していない
(3) 有
(4) 所管していない

石川県教員総合研修センター

- (1) 有
(2) ① 常勤、会計年度任用職員
② 常勤 2 名、会計年度任用職員 1 名
(3) 有
(4) ① 常勤、会計年度任用職員
② 常勤 2 名、会計年度任用職員 1 名

金沢市教育プラザ 研修相談センター

- (1) 有
(2) ① 雇用ではなく、報償費の支払いによる配置。
② 3 人
(3) 無
(4)

小松市教育研究センター

- (1) 有
(2) ① 週 3 日勤務が 1 人、週 2 日勤務が 2 人

② 3 人 (3) 有 (4) ①週 3 日勤務が 2 人、週 2 日勤務が 2 人 ② 4 人	福井県教育総合研究所
(1) 有 (2) ①月 AM 1 人、火 PM 1 人、水 AM 1 人、PM 1 人、木 PM 2 人、金 PM 2 人 ② 3 人 (3) 無 (4)	岐阜県総合教育センター・関市まなびセンター
(1) 無 (2) (3) 有 (4) ・非常勤 ・ 2 名	多治見市教育研究所
(1) 有 (2) 複数校兼務（時間給） 市内で 3 人 (3) 無 (4)	瑞浪市教育研究所
(1) 有 (2) ①教育相談、発達検査 ② 1 人 (3) 無 (4)	恵那市教育研究所
(1) 無 (2) (3) 無 (4)	中津川市教育研修所
(1) 有 (2) ①非常勤 ② 1 人 (3) 無 (4)	美濃加茂市教育センター
(1) 有 (2) ①年間約 27 日各小学校に勤務。1 日 6 時間。 ② 8 人 (3) 有 (4) ①年間約 90 日複数の小中学校で勤務。1 日 6 時間。 ② 2 人	可児市教育研究所
(1) 有 (2) ①年間 25 回（140 時間） ② 1 名	

(3) 無 (4)	愛知県総合教育センター
(1) 有 (2) 【来所相談・教職員相談等】 ①週 1 回10:00～17:00（休憩12:00～13:00） ② 5 人 【訪問相談】 ①週 1 回 9 :00～16:30（休憩12:00～13:00） ② 2 人 (3) 有 (4) ①週 1 回 9 :00～16:00（休憩12:00～13:00） ② 1 人	名古屋市教育センター
(1) 有 (2) ①主幹スーパーバイザー（常勤） 8 : 30～17 : 15 月～金 青少年相談員（非常勤） 9 : 00～17 : 00 月～土のうちの 5 日 ②主幹スーパーバイザー： 1 人 青少年相談員： 7 人 (3) 有 (4) ①スクールソーシャルワーカー（非常勤） 9 : 00～17 : 00 月～土のうち 5 日 ② 5 人	豊田市教育センター
(1) 有 (2) ①非常勤 ② 6 人 (3) 無 (4)	安城市教育センター
(1) 有 (2) ①非常勤 ② 5 人 (3) 有 (4) 正規職員 2 名 非常勤嘱託員 2 名	豊橋市教育会館
(1) 有 (2) ①勤務時間は、月16日以内又は週29時間以内、1日7時間45分以内。 ② 6 人 (3) 無 (4)	三重県教育委員会事務局
(1) 有 (2) ①担当の曜日、時間帯に入室、報償費として支払い。 ② 3 人 (3) 無 (4)	桑名市教育研究所
(1) 有 (2) ①平日 1 ～ 2 人体制 ② 3 人 (3) 無 (4)	伊勢市教育研究所

- (1) 有
 (2) ①年間239日以内 勤務時間午前8時30分から午後5時15分
 ②2人
 (3) 無
 (4)

津市立教育研究所

【聴取27】研究調査について

- (1) 非認知能力に関する調査研究の実施の有無
 ① 有 ② 無
 (2) (1) で有の場合、その研究内容

(名古屋市教育センター)

- (1) 無
 (2)

富山県総合教育センター

- (1) 無
 (2)

富山市教育センター

- (1) 無
 (2)

石川県教員総合研修センター

- (1) 無
 (2)

金沢市教育プラザ 研修相談センター

- (1) 無
 (2)

小松市教育研究センター

- (1) 無
 (2)

福井県教育総合研究所

- (1) 無
 (2)

岐阜県総合教育センター・関市まなびセンター

- (1) 無
 (2)

多治見市教育研究所

- (1) 無
 (2)

瑞浪市教育研究所

- (1) 無
 (2)

恵那市教育研究所

- (1) 無
 (2)

中津川市教育研修所

- (1) 無
 (2)

美濃加茂市教育センター

(1) 無 (2)	可児市教育研究所
(1) 無 (2)	愛知県総合教育センター
(1) 有 (2) 本市教員が児童生徒を対象に非認知能力に関する調査を実施している全国の学校園や教育委員会に視察調査をする予定。	名古屋市教育センター
(1) 無 (2)	豊田市教育センター
(1) 無 (2)	安城市教育センター
(1) 無 (2)	豊橋市教育会館
(1) 無 (2)	三重県教育委員会事務局
(1) 無 (2)	桑名市教育研究所
(1) 有 (2) hyper-QUの実施	伊勢市教育研究所
(1) 無 (2)	津市立教育研究所